第 4 日

1. 平成27年6月19日午前10時00分招集
2. 平成27年6月19日午前10時00分開議
3. 平成27年6月19日午後6時14分散会
4. 会議の区別 定例会
5. 会議の場所 和水町役場議場

6. 本日の応招議員は次のとおりである。(14名)

1番 生山敬之	2番 森潤一郎	3番 蒲池恭一
4番 豊後力	5番 荒木政士	6番 松村慶次
7番 小山暁	8番 高巢泰廣	9番 庄山忠文
10番 池田龍之介	11番 杉村幸敏	12番 笹淵賢吾
13番 荒木拓馬	14番 杉本和彰	

7. 本日の不応招議員は次のとおりである。(0名)

8. 本日の出席議員は応招議員と同じである。

9. 本日の欠席議員は不応招議員と同じである。

10. 職務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

事務局 長 松尾裕二 書記 前田聡子

11. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者は次のとおりである。

町 長 福原秀治	教 育 長 小出正泰
総務課長 高木洋一郎	総合支所長 有富孝一 兼農林振興課長
会計管理者 隈部久美子	まちづくり推進課長 池本文雄
税務住民課長 山下仁	健康福祉課長 今村裕司
商工観光課長 坂本政明	建設課長 池田宝生
学校教育課長 吉田収	社会教育課長 豊後正弘
学校統合推進室長 樋口哲男	住民課長 石原民也
農業委員会事務局長 石原忠邦	町立病院事務部長 堤一徳
特別養護老人ホーム施設長 坂本誠司	

12. 議事日程

- 日程第1 議案第40号 和水町消防団条例の一部改正について
- 日程第2 議案第41号 和水町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について
- 日程第3 議案第42号 和水町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部改正について

- 日程第4 議案第43号 和水町介護保険条例の一部改正について
追加日程第1 町長 福原秀治君の辞職勧告の決議案
日程第5 議案第44号 和水町立学校設置条例の一部改正について
日程第6 議案第45号 平成27年度和水町一般会計補正予算（第2号）
追加日程第2 事件撤回の件
日程第10 議案第49号 平成27年度国民健康保険和水町立病院事業会計補正予算（第1号）
日程第11 同意第8号 和水町固定資産評価員の選任について
日程第12 報告第2号 平成26年度株式会社菊水ロマン館の決算報告について
日程第13 農業委員の推薦について
日程第14 陳情等の常任委員長報告について
日程第15 閉会中の継続審査について
日程第16 閉会中の継続調査について（各委員会）
日程第17 議員派遣について
追加日程第3 発議第3号 ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書の提出について
追加日程第4 発議第4号 青少年健全育成基本法の制定を求める意見書の提出について
追加日程第5 発議第5号 安全安心の医療介護の実現と夜勤改善大幅増員を求める意見書の提出について
追加日程第6 発議第6号 介護従事者の処遇改善を求める意見書の提出について

開議 午前10時00分

○議長（杉本和彰君） 起立願います。おはようございます。御着席ください。

これから、本日の会議を開きます。

本日は上程された議案に対する審議採決となっております。

日程第1 議案第40号 和水町消防団条例の一部改正について

○議長（杉本和彰君） 日程第1、議案第40号「和水町消防団条例の一部改正について」を議題とします。これから質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。これから討論を行います。討論ありますか。

（「なし」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は起立によって行います。

議案第40号、和水町消防団条例の一部改正については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長（杉本和彰君） 起立多数です。

したがって、議案第40号は原案のとおり可決されました。

日程第2 議案第41号 和水町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について

○議長（杉本和彰君） 日程第2、議案第41号「和水町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について」を議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありますか。

（「なし」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は起立によって行います。

議案第41号、和水町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長（杉本和彰君） 起立多数です。

したがって、議案第41号は原案のとおり可決されました。

日程第3 議案第42号 和水町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部改正について

○議長（杉本和彰君） 日程第3、議案第42号「和水町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部改正について」を議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありますか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は起立によって行います。

議案第42号、和水町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部改正については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長（杉本和彰君） 起立多数です。

したがって、議案第42号は原案のとおり可決されました。

日程第4 議案第43号 和水町介護保険条例の一部改正について

○議長（杉本和彰君） 日程第4、議案第43号「和水町介護保険条例の一部改正について」を議題とします。これから質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありますか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は起立によって行います。

議案第43号和水町介護保険条例の一部改正については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（杉本和彰君） 起立多数です。

したがって、議案第43号は原案のとおり可決されました。

○議長（杉本和彰君）

8番 高巢泰廣君

○8番（高巢泰廣君） 動議、町長辞職勧告決議案の動議を提出いたします。

○議長（杉本和彰君） しばらく休憩します。

休憩 午前10時07分

再開 午前10時09分

○議長（杉本和彰君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

ただいま、高巢泰廣君ほか二人から町長福原秀治君の辞職勧告の決議案が提出されました。本決議案を日程に追加し、追加日程第1とし、日程の順序を変更し、直ちに議題とすることについて採決します。この採決は起立によって行います。お諮りします。起立しないものは反対とみなしたいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 異議なしと認めます。

それでは、本決議案を日程に追加し、追加日程第1とし、日程の順序を変更し、直ちに議題とすることに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（杉本和彰君） 起立多数です。

したがって、町長福原秀治君の辞職勧告の決議案を日程に追加し、追加日程第1として日程の順序を変更し、直ちに議題とすることは可決されました。

追加日程第1 町長福原秀治君の辞職勧告の決議案

○議長（杉本和彰君） 追加日程第1、町長福原秀治君の辞職勧告の決議案を議題とします。
提出者の説明を求めます。

8番 高巢泰廣君

○8番（高巢泰廣君） おはようございます。和水町町長の辞職勧告決議案の提案について御説明申し上げます。御提案申し上げます。和水町町長の辞職勧告決議案、上記の議案を別紙のとおり、議会規則第14条の規定により提出する。提案理由、菊水区域学校統合問題においては町長の公約はすべてなし崩し、破棄され、目に余る失態続きで、町民の信頼を完全に裏切る行為でありとても今後の行政をお任せすることができない。よって、辞職を勧告します。これが3月提案の理由でありました。3月辞職勧告以降なおも菊水区域学校統合問題に関し、反省なく、諮問機関である学校統合推進委員会の答申を破棄し、新たなA案、B案の折衷案、新改修案を提示されたが、その審議、議論もなく、唐突な答申無視、教育委員会、町民無視の中、これ以上町が混乱し、学校統廃合が遅れることは、将来の和水町を担う子ども達のためにならない。よって、辞職を勧告します。

○議長（杉本和彰君） これから質疑を行います。
質疑はありませんか。質疑はありませんか。

12番 笹淵賢吾君

○12番（笹淵賢吾君） 今、提案理由を述べられました。その中で、下の方から3列目にあたりますが、唐突な答申無視、教育委員会、町民無視の中というようなことにありますが、町民無視というのはどこらあたりを指して言うのでしょうか。全体的にアンケート調査とかされてそういうふうに使われたのか、伺います。

○議長（杉本和彰君）

8番 高巢泰廣君

○8番（高巢泰廣君） これにつきましては、町長は3月の4、5、6、7の日程の中で、町民説明会等を開催されております。その中でですね、安全安心に対する町民の方々の不安、このへんがもっと知りたいと、設計会社等も呼んで説明をしていただきたいと、というような要望がありましたけれども、町長はこれについては、お答えがなかったと、いうようなことを指しておるわけでございます。

○議長（杉本和彰君）

12番 笹淵賢吾君

○12番（笹淵賢吾君） 今の答弁では、結局町民説明会の中で意見が出たということだけで、町民無視と、全体的な町民の無視されているということには当たらないというふうに思いますね。それから、そのあとにですね、町が混乱し、学校統廃合が遅れることは、将来の和水町を担う子

ども達のためにならないというふうに書かれておりますが、今回ですね、建設費約5億7,000万ということで提案された関連の補正予算が出ておりますが、それからしますとですね、これまでの議会の中で議論の中で明らかなのは、複式学級を早くなくして欲しいという保護者の、あるいは町民の皆さんの願いに答えるということでの耐震工事、これが提案をされております。このことからするとですね、こういうふうに町長辞職勧告決議案ということで、その耐震工事も遅れることになるというふうになればですね、ここに書いてあるように、学校統廃合が遅れることに、このことをですね、まさに示しているのではないのでしょうか。ですから、本当に学校統廃合を早く進める、将来の和水町を担う子ども達が、子ども達のためにというふう考えるのであればですね、こういった町長辞職勧告決議案というのは私は出すべきではないというふうに思いますけれども、いかがでしょうか。

○議長（杉本和彰君）

8番 高巢泰廣君

○8番（高巢泰廣君） 複式学級の解消ということで、平成17年にですね、菊水南小学校の住民の方々から早く複式学級を解消していただきたいという要望書が出て、それをもとに町でも検討委員会、審議会、特別委員会を経て、いろいろの意見を積み重ね、今日に至ってきていると思います。そうした中で、膨大な時間と労力を使って積み上げたやつがですね、もちろん考え方はありましようけれども、なし崩し的に新たな提案をされたということはですね、教育委員会、特別委員会の学校統合委員会の答申が出たにもかかわらず、このへんは全く無視の状態ではないかというふうに思います。そういうことを考えますと、やはり、もっとそのへんを真摯に受け止めていただいて、これも委員会にしましても、それなりの100万円近くのお金がかかっているわけですので、やはりそういったことをふまえて、審議したやつについてはですね、真摯に取り組んでいくべきではないかという思いがいたすところがございます。とにかく、思いは誰でも一緒だと思います。町長も、我々議員も町民の皆さん方も、一日でも早く学校を統合し、そして複式学級を解消していくということに向けてですね、我々も一緒になって努力をしていく必要がございますけれども、そのへんについて若干疑問を感じると思いますか、なかなか進まないところにいら立ちを覚えるところがございます。以上です。

○議長（杉本和彰君）

12番 笹渕賢吾君

○12番（笹渕賢吾君） 今、統廃合はなるべく早くと、同じ願いでありますと、というような答弁だったと思いますが、こういう形でですね、そういう気持ちがあればですね、町長辞職勧告決議案を二度にわたって出すということは、町民の皆さんにも議会の信頼を失くしますし、町外の人達にとってもですね、和水町の議会がですね、非常に混乱をしとるということをですね、あからさまに見せるということに私はつながると思うんですよ。こういったことは止めるべきだというふうに思いますけれども、いかがですか。

○議長（杉本和彰君）

8番 高巢泰廣君

○8番（高巢泰廣君） 今回提出しましたのは、私達のやむにやまれぬ行為でございます。

○議長（杉本和彰君） ほかに質疑はありませんか。

10番 池田龍之介君

○10番（池田龍之介君） 10番です。提案者の高巢議員にお聞きいたします。この提案理由の中において、3月定例会で出された提案理由のことをうたっておりますけれども、これを含んだところでの今回の町長辞職勧告決議案の御提案でありますか、お伺いいたします。

○議長（杉本和彰君）

8番 高巢泰廣君

○8番（高巢泰廣君） 含んだやつもございまして、それから、今回新たにそれ以降いろいろ提案がなされておりますので、そのへんのことも含めてでございます。

○議長（杉本和彰君）

10番 池田龍之介君

○10番（池田龍之介君） はい、10番。それでは、ちょっとお尋ねいたします。含んだところと私は解釈しましたので、お尋ねいたします。町長の公約は全てなし崩しと、破棄されと、いう文言がありますけれども、首長、それと国会議員の先生方は、公約ということ掲げられますけれども、公約というのは任期期間中に行うのが公約じゃないですか。たった1年でなし崩しという言葉を使うこと自体が私は矛盾があるんじゃないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

○議長（杉本和彰君）

8番 高巢泰廣君

○8番（高巢泰廣君） これは、中心的なやつは学校問題が主体でございますが、このへんを見てみますと、なかなかこの1年間前進はなかったというような事でこういう表現でございます。

○議長（杉本和彰君）

10番 池田龍之介君

○10番（池田龍之介君） はい、10番です。それでは、お伺いします。この辞職勧告決議案というのは何ら法的拘束力がありません。本当に町長を辞めていただきたいという思いがあるなら不信任決議案を出すべきじゃないですか。違いますか。

○議長（杉本和彰君）

8番 高巢泰廣君

○8番（高巢泰廣君） 確かにそれも考えました。しかし、今回は辞職勧告決議案ということで対応したところでございます。

○議長（杉本和彰君） ほかに質疑はありませんか。

1番 生山敬之君

○1番（生山敬之君） 提案者の高巢議員にお尋ねいたします。菊水区域において学校統廃合が遅れることは、将来の和和水町を担う子ども達のためにならないと表記されておりますけれども、29年4月開校の約束を果たすための代案を町民に対してもここで示す必要があると思っておりますが、いかがでしょうか。

○議長（杉本和彰君）

8番 高巢泰廣君

○8番（高巢泰廣君） このへんにつきましては、再三再四、一般質問等で町長にはお尋ねをし提案をしてきたと思います。

○議長（杉本和彰君）

1番 生山敬之君

○1番（生山敬之君） それは、番城地区の新築案だと思うんですけども、29年4月開校に本当に間に合うとの確証は取れているのでしょうか。また、その根拠をお示してください。

○議長（杉本和彰君）

8番 高巢泰廣君

○8番（高巢泰廣君） 29年の4月ということにつきましては、町長が御提案をされ4月スタートしたいということでございますけれども、町長がそのへんに向けての提案をしっかりとさせていただくことが、まず先決だと思います。

○議長（杉本和彰君）

1番 生山敬之君

○1番（生山敬之君） この町政の停滞を招いたのは両輪といわれる町と議会のバランスが歪んでしまったからではないでしょうか。お互い様であり、一方的に町長だけを責任追求するのはフェアプレイではありません。決して望ましい方法ではないが、議会の自主解散の方がよっぽど町民の理解は得られるのではないかと考えますがいかがでしょうか。

○議長（杉本和彰君）

8番 高巢泰廣君

○8番（高巢泰廣君） 事の発端は、町長の提案によってですね、遅れたというふうに認識しておりますし、私どももそれに向けては、いろいろ問題点について指摘をし、今日に至っております。なかなか町長は真摯にそのへんをお答えされてない部分がたくさんございます。先ほども申し上げましたように、安全安心、果たして大丈夫でしょうか。だったら是非、設計会社も呼んで専門の立場から説明をしていただきたい。これは、住民説明会でもそういう意見がっております。議会でもございました。これはもう期限が、契約が過ぎているからということで、町長はこれには応じていただけませんでした。それからまた、あまり金額的にですね、事業費は実際町が負担する金額についてはですね、あまり差がないと、新築案とあまり差がないと、私は、これは新築案の方が今後将来的に考えて有利であるというふうに思っております。合理性があると思っております。やはり、改修案では耐用年数が長くても2、30年と。2、30年先にはさらにまた新たな建設を考えにやいかんということは二重投資になるのではなかろうかというようなことも考えられる。そういったことから、私は今回、ずっと新築案について、推進をすべきじゃないかということできましたけれども、そのへんがありませんでしたので。町長については、町長も一生懸命やっておられることは十分承知いたしておりますし、敬意は表すところでございますが、なかなか思いが、我々には伝わってきませんので、こういうことで対応したところでございます。

○議長（杉本和彰君） 質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

10番 池田龍之介君

○10番（池田龍之介君） 10番議員です。ただいまから、この町長辞職勧告決議案についての反対討論をいたします。私がなぜ反対討論をするかといいますと、先ほど質疑の時にも申し上げました辞職勧告決議案、これは法的拘束力は何らありません。本当に町長、町のことを思って、町長を変えた方がいいということであれば、先ほども申し上げましたけれども、町長不信任決議案を提案すべきであると私は考えております。そして、この辞職勧告決議案、いわば自分らの身分は保証しながら、身を斬る改革ではないということでもあります。そこで、私はこの決議案には反対をいたします。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか。

2番 森 潤一郎君

○2番（森 潤一郎君） 2番議員の森であります。私は高巣議員の提出をされました町長辞職勧告決議案について賛成の立場から討論をしたいと思っております。そもそもこの町長辞職案ができてきた背景には、福原町長の議会軽視と思われんばかりの町民説明会、あるいは議会全員協議会の中での説明、私も幾多の課題を提出しましたけれども、答えていただくことができませんでした。提案者である学校問題を中央小学校リニューアルという改善計画をたてられる町長であれば、そのことについて私たちが議会の立場から質問をするような材料に対しては、材料提出を求められたときには当然提出をすべきであります。そのことを拒否されたこと、そのことがこの1年3カ月も学校統合問題が停滞している大きな理由であります。よって私は高巣議員の町長辞職勧告案の提出を相談を受けたときに、賛成者の立場で私もそのへんは同じだから当然賛同しますということで署名もいたしました。それから池田議員に対する反論ではありませんけど、そもそも町長が議会被軽視されたような行動をされたことがこの停滞を招いている結果につながっていることは、これは明白な事実であります。そういう中での私たちのこの辞職勧告決議案であり、決して我々が責任を取るような問題とは思っておりません。これは町長自らが決する問題であろうというふうに私自身は思っておりますので、あえて辞職決議案賛成の立場から討論を申し上げます。ありがとうございました。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか。

5番 荒木政士君

○5番議員（荒木政士君） 5番議員の荒木でございます。私は先ほど出されました町長に対する辞職勧告決議案に対する反対討論を行います。福原町長におかれましては、3月定例会において定例会の前にまたあの町民説明会等、学校統廃合につきましては、丁寧な説明の中、そしていろんな方々の要望等々を聞きながらA案、B案、その中で3月議会定例会において修正動議がな

され、そして10名の賛成の中、修正動議が修正案が決定され、そして今定例会においては、また修正案ということで5億7,000万等々がだされ、そして町長の公約でございます平成29年4月開校に向けて今一生懸命頑張っておられます。議会軽視とかそういうこともありましたけれども、逆に議会の意見を聞き過ぎて、このような逆に混乱を招いているのではなかろうかと思うところもでございます。とにかく学校統廃合、複式学級解消がすべての願いでございます。お互いになんらかの歩み寄り、そういったことができないか、いつも私は思っております。そして私は先日の議会全員協議会の中で、今の和水町は議会の体をなしてない、自主的に解散するようなことまで議論してはいかがかと、そういう提案も私はしております。そういった中で町長一人に責任を負わせるような、こういう辞職決議案に対しては反対するものでございます。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか。討論ありませんか。

11番 杉村幸敏君

○11番議員（杉村幸敏君） 福原町長の辞職勧告決議案についての賛成討論を提案者の一人として今から賛成討論をしたいと思えます。この学校問題です。大体のこの勧告というのは、ほとんどがこの1年3カ月の間学校問題でございます。今回において6億9,000万の中央小学校での案が提案されております。その件については、私はどうしても理解ができません。6月1日に議運を開いた時に、こういうことで提案をすると、総務委員長、副委員長もおられましたので「あたども相談はあつとりますか」「しっとるかいた」「いやおっどみやそやんとはしらん」て。この大事なことは総務委員長も副委員長も知らない。そういうことと、6億9,000万で本当に安心安全な学校ができるのか、そこが一番心配でございます。それから場所の問題で今まで議論がなされて、私たちの意見は一般質問等で十分何回も何回も話をしております。最初は21億円、9億8,000万、今度はいきなり6億9,000万。教育委員会の方はどうかと尋ねますと、私たちは20億円の線でいくというような話でございます。そして、私は議員生活5期目を迎えました、学校問題の場所の選定のときには、元相澤教育長さんを中心に審議をしてきました。そして番城グラウンドに連れていかれて、そしてここにおいでの方皆さんも最近の議員さんは何名かの議員さんもそれを承認をされました。そういういきさつがございます。やっぱり私は先ほど話がありましたように、小中一貫校です。小中一貫校を進めたいと、昨日、一昨日の新聞ですか、熊日新聞に文部省は小中一貫校を進めたいと。今まさにそういう学校を作る時には、小中一貫校が一番いいということで文部省も政府の方針として出ております。これが千載一遇のチャンスだと思います。読売新聞を見てください。そういうことで30年後にまた学校を造り直すと、そういうことで子どもたちに対して申し訳ない。それが場所の問題につきましても、もう何回も言っております。あそこは正門がないと、裏から入れにやいかんと。駐車場もないと。やっぱり私は金がいっても新しい学校に子どもたちをやって、よそからもこの小学校は立派な教育施設がある。よそからも和水町に住んでそういう教育を受けさせたいということを金がいっても、先を未来を担う子どもたちにはそういう学校で勉強をしてもらいたいということで賛成をいたします。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか。原案に反対者の発言を許します。

6番 松村慶次君

○6番議員（松村慶次君） 6番松村です。反対討論をいたします。高巢議員から出された辞職勧告案は、3月議会にも出されましたけど、法的拘束力はなく、それだったらですね、町長に不信任案を出すべきだと私は思います。町長も真摯に執行に対し検討されておりますので、町長だけに責任はないと思います。私たち議員も責任があると思いますので、議員自ら自主解散をして民意をとるべきではないでしょうか。そのためにこの辞職勧告に対しては反対討論といたします。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか。原案に賛成者の発言を許します。

9番 庄山忠文君

○9番議員（庄山忠文君） 9番議員の庄山でございます。私は賛成討論を申し上げたいというふうに思います。この問題はですね、非常に複雑な問題でございます。私は町長に対して本当にこの学校統合問題、安全安心な学校、そして財政の面、それから環境の面、危ないか安全か本当に環境の面、それから耐用年数の問題、無駄金になりませんか、そういう思いが真摯に私は思っております。そういう中でこの番城案と中央小学校の案と、2案あります。そういう中で私は8年前からずっと番城が最高の場所であるというように確信をしております。その内訳は今申し上げましたように、安全安心の面、環境の面、耐用年数、無駄金、そういう面を全体を考えて私はこの案に、この番城に対してやるということで、私は、一貫してやってきました。それに対して町長は、私は中央小学校で耐震をやります。そういう考えを私は変えないとはっきりこの前もおっしゃいました。それならば私ははっきり辞めていただきたいと本当にそれが安心安全の学校であるならばと、そういう思いでおります。そういう思いがあるから辞職勧告に対して賛成でございます。以上でございます。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか。

4番 豊後 力君

○4番（豊後 力君） 4番議員の豊後でございます。私はこういう立場で、こういう討論をするというのは初めてでございますので、お聞き苦しい点、また変なことをいうかもしれませんけれども、私の真意を述べて反対討論をさせていただきたいと思っております。先ほど来、公約の問題が出ております、確かに公約というのはたった1年でですね、ことを済ませるものではないというふうに私は考えますし、また県の知事も1期目、2期目のマニフェスト、公約についてですね、検証もされました。大体あの当時で50%くらいだったんじゃないかなというふうに記憶をしておりますけど、それはさておきですね、今傾斜しているのが、学校統廃合問題でございますが、やはり前回の坂梨町長と福原町長の選挙によって、わずかな票でございましたけれども、福原町長が信任を受けたと。確かに学校問題だけに傾斜したわけではないと思っておりますけれども、町民の大半はそういう形で臨まれたんじゃないかなというふうに思います。やはり問題は学校建設の用地と場所と、それから既存の建物のリニューアルをするということの違いだったというふうに感じておりますが、やはり箱物はですね、非常に造る時は非常にみんな喜ばれます。しかし、周りを見ますとですね、あれだけの経費をかけて今現存する建物にいかほどのメンテナンスが必要、それとまた費用面も莫大な費用がかかっておるといふふうに思います。私は、先日空き家対策のことを一般質問で取り上げましたけれども、やはりその中で市町村も持ってるそういった空き家、

空き家といいますか利用されない施設というのは今回の空き家対策の部分には入っていないということで、公的なものは入りませんということでありますけれども。やはり町としても公としてもですね、責任があるんじゃないかなと思います。私はやはり物あるものを大事に残しながらそれを立派に作り上げるというのが私の理想でございます。それと選挙の度にいろんなことが起きますが、私は今回についてもですね、一般質問で申し上げました。終わりのない不毛の戦いの始まりだというふうに思います。よって私はこれ以上町民に負担をかけずに、精神的な負担もかけずに子どもたちの元気な姿を見ながら既存の建物を立派に整備をして、次の世代にバトンタッチしながら今後町民が増える、そういう時には、また三加和地区との小学校、中学校の合併の折にはですね、また新たな大きな施設が必要になります。それを見越して今は耐えるときは耐えるというようなことで私は望んでいただきたいと思いますということで反対討論とさせていただきます。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから町長福原秀治君の辞職勧告の決議案を採決します。

この採決は、起立によって行います。

お諮りします。起立しないものは反対とみなしたいと思います。御異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 異議なしと認めます。

それでは、本決議案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（杉本和彰君） 起立多数です。

したがって、町長福原秀治君の辞職勧告の決議案は可決されました。

日程第5 議案第44号 和水町立学校設置条例の一部改正について

○議長（杉本和彰君） 日程第5、議案第44号「和水町立学校設置条例の一部改正について」を議題とします。これから質疑を行います。質疑はありませんか。

3番 蒲池恭一君

○3番議員（蒲池恭一君） はい。この提案第44号、和水町立学校設置条例の一部改正についてですね、私も一般質問の中で、いろんなことを述べさせていただきました。今、辞職勧告決議案に対してもですね、いろんな皆さん方の御意見がありましたけれども、確かに複式学級も急いでしてやらなければ、子どもたちはかわいそうだ、かわいそうだというとは私も重々わかっております。そんな中で本来でありますと、一般質問の中でも言いましたけれども、21億というのが町長が最初示されて、そんな中で町民説明会、住民説明会されました。本来であるならその時に町長が、やっぱり公約とあまりにも違うということで、しかし私はこの前も言いましたけれども、安くあげるということが私は町民の中で一番支持を受けた原因ではなかろうか

と思っておりますので、それに対して信をとって当選されてくれれば私はもろ手を挙げてこれに強化ガラスを含めた22億近くになりますけれども、賛成したいという立場をずっと言わせていただいております。そんな中で今回、6億9,000万という学校教育委員会と町長部局との整合性のなさ、そして今後6億9,000万をです、認めた場合には今後プール建設、そして調理場、そして配管工事ともろもろが本当にいくらあがるかもわからないようなことをです、今回一般会計補正予算の中に上程されております。そんな中で一昨年1,400万近く的设计委託料でしたかね、それを反対しそして950数万だったと思えますけれども、それを可決させていただきました。そんな中にはスケルトン工法もしっかり我々にお知らせをしていただくということが、条件で私はその案に賛成しましたけれども、町長はそれを示されもしませんでした。そんな中で、今後この6億9,000万がいくらかかるかわからない、そういうことが私は議員として認められない。よってです、この思っておりますけれども、そこらへんのことでなんか御答弁がありましたらお答えいただきたいと思えます。

○議長（杉本和彰君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） 一般質問等々でも、お答えを申し上げましたけれども、耐震改修これにつきましては喫緊を要するところがございます。したがって、何度も申し上げますけれども、1歩でも2歩でも進まさせていただきます。町民の皆様、保護者の皆様に対しては、今後この改修で進まさせていただきますということを再度御理解を求めながら、また御要望もお伺いしながら進めてまいりたい。いくらかかるかわからないということもございますけれども、A案、B案をお示しをいたしております。間違えなくその範ちゅうであることは間違いないところでございます。ですから、その範ちゅうの中で例えばA案の範ちゅうであればA案の範ちゅうの中で皆さんの御意見、御要望を大切に取り扱っていくと。そういうことでございます。それから今回の条例案、これを提案させていただきました理由は、もう一つございます。この統合改修、この部分が今後どういう議論になっていきますにつきましても、中央小学校で統合を進めさせていただきますということについては、私の方針というのは今の時点では変わっておりません。今の時点というのは訂正させていただきます。これについては変わっておりません。ただ、統合改修後進めるについて、補助金申請等々の条件もございます。二つ目は子どもたちがそういう意味ではいつ起きるかわからない、そういう地震や自然災害への対応もございます。したがって、この設置条例これをお認めいただくことによりまして、中央小学校の統合改修を進めていくうえで、国の補助も受けることができる。これが間に合わなければ裸でやりなさいと、そういうことでございます。とてとてもそれはできません。そういう意味でこの条例案の議案提示をいたしております。御理解をいただきますようお願い申し上げます。

○議長（杉本和彰君）

3番 蒲池恭一君

○3番議員（蒲池恭一君） そもそもです、福原町長自らが住民運動をしなければ今年の27年4月には開校されてたわけでありまして。そんな中で結局21億を提示されたことが私は町長の本当

の思いだろうと思いますけれども、そんな中で町民負担ということでは、既存の小学校を使った場合の方が町民の負担は増えたとは思っております。またその中でですね、今回は6億9,000万そのあとにいくらかかるかわからない。それを設計委託料という950万を出したわけだから、それは年次計画でちゃんと知らすべきじゃないんでしょうか。そしてそれに対しては、合併特例債にしろ、過疎債にしろ32年という期限があるんですよ。32年度までと。その補助金がもらえなくなる可能性もあるわけですよ。それにも関わらずそういうことをあとからあとからと、それは子どもたちの、未来の子どもたちに「つけ」を残すんじゃないですか。それこそまさに。と私は思っております。そのところでですね、答弁がありましたらお答えいただきたいと思っております。

○議長（杉本和彰君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） お答えをいたします。3月の定例議会で、私はもろもろ慮りまして、先ほど議員のお一人からお話がありましたけれども、議会の意見、それから町民の皆様、御意見、保護者の皆様、御意見、これをお聞きしすぎたのかもわかりません。これだけの改修ができればいいなというのが私の思いでありました。そしてその思いを実現するために21億という数字を提示させていただき、再三再四申し上げてまいりましたように、ここからできるだけ、できる限り経費の削減に努めますというふうに申し上げてまいりました。今度はその時点で安心安全、この分については十分御説明を申し上げてきたつもりであります。それから先般お示しをされましたように、設計会社のコメントも皆様にお示しをさせていただきました。そういう意味では安心安全、これが守れるのであれば、問題は町民の皆様の一部の方、それから一部の方は間違えました。町民の皆様、それから議会の皆様「公約守れ」ということでございます。まず始めるには、公約を守るしかないじゃないですか。これから始めさしてくれと。私はいうておるんです。それは積み上げになるのかもわかりません。高い基準をお示しして下げていく。公約、公約とおっしゃいますから、公約の部分を守りながら必要な部分を補完していく考え方は方法こそ違え、考え方は同じだというふうに思います。ですから、決してないがしろにしているわけではございません。以上でございます。

○議長（杉本和彰君）

3番 蒲池恭一君

○3番議員（蒲池恭一君） 今町長からですね、強い思いの答弁がありましたけれども、私には全然理解ができない。それはなぜなのかというところでですね、わざわざ950万もの設計委託料を作ったわけですよ。なぜその時に削減できるような設計をあげてこないんですか。1番からあげればいいじゃないですか。そういうことができるのなら。なんで後からあげるんですか。わざわざ950万も費やしたわけでしょ。ならそこを省くならそこを省くですたい。じゃないんですか。いやいやいや、まだいいです。これが最後だけですね。待ってください。それとですね、設計会社から文書1枚もらったからと言ってですね、それが安心だ、安心だて。私たちは町民の皆さん方から負託をいただいて発言力をいただいています。その我々がですね、多くの議員が設計会社を呼んでいただきたいと、我々も未来の和水町を担う子どもたちのためにしっかりと学校を作

っていただきたい。そのためには設計会社を呼んでいただきたい。そして元のあった設計委託料のその中の約束であったスケルトン工法もいくらだったのかということも知らしてほしいということに一切として町長は耳を傾けないじゃないですか。そういうことで議会が、議会と町がうまくいくはずがないじゃないですか。とですね、だんだんと安くするということがですね、私はそこが疑問だと思えますので、それに対してしっかりとした答弁をいただきたいと思えます。これが最後なんです。私は951万だったと思えますけど、それをだした時点でわざわざ学校統合室を設けたわけですよ。ならそこで省ける案ばつくらなんわけですよ。今から努力しますじゃないんですよ。なんでそこであげないんですか。あげることが前提でそれにお金を費やしたわけですよ。違うんですか、お答えください。それで、そういうことですね、私はこの条例案に関してはですね、反対を、反対の立場をとらせていただきたいと思えます。以上です。

○議長（杉本和彰君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） これは基本構想でございます。ですから再三再四申し上げてきましたけれども、基本設計それから実施設計の中で検討しながら、またそれを受けていただいた業者さんと協議をしながら省けるものは省くと、そういう話でまいったと思えます。ですから、基本構想はあくまでも基本構想。本番は基本設計、実施設計であります。これはよくわかりだと思えます。ですから、そこで削減できる費用は削減していく、そういう部分でございました。それから、業者を呼びなさいということでございますけれども、A案、B案をお示しした中で私の計画としましてはスケルトン方式、そこまで規模を大きくする必要はない。また、設計者の方からもスケルトンでなくても十分耐えていけると、そういうお話もいただいてまいりました。ですからそういう意味で業者を呼ばなかった、そういう部分でございます。ですから、安全性については、私は責任をもってこの案を提示させていただいたところでございます。

○議長（杉本和彰君） ほかに質疑はありませんか。

7番 小山 暁君

○7番（小山 暁君） はい、小山です。今回和水町立学校設置条例の一部を改正する条例が提案されておりますが、私は先日15日の一般質問におきまして、その時にも申し上げましたが、菊水小中学校を番城に新設するという、当時議会で承認されました町の建設計画はいまだ生きておると、そのように申し上げたと思っております。そのことをないがしろにはできないと思えますし、一方菊水校区の菊水地域の小中学校校舎建設の改修事業費やそれから建設内容等におきましてもいまだ問題は決着がついておらず、現状は硬直状態が今も続いているという状況であります。学校設置条例のこの一部改正だけがですね、先行してるような感じもいたしますけれども私は時期尚早じゃないだろうかと思えますけど町長の考えを伺います。

○議長（杉本和彰君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） まず、第1番目のかつての議会決議ということでございます。私もその経緯というのはやにありましたのでつぶさには存じ上げてはおりません。それはここにおられる

当時おられた議員さんが御案内かと思えます。ですからそれについて議会の議決これについてどうだこうだと申し上げるつもりはございません。ただし私の記憶に違いがありましたらお許しください、間違えまして御指摘があれば訂正させていただきますので、確か25年の12月だったかと思えます。議会におきまして前職が3月の町長選、これを過ぎるまでこの新築案については凍結をしたいというふうにおっしゃられました。それで3月の選挙をクリアしてその後に進めたいというようなお話でございました。私はこの凍結宣言、これで白紙に戻ったものと解釈をいたしております。小山議員のお話わからないわけでもありませんけれども、そこは凍結をした以上、やっぱり白紙じゃないかというふうに考えるものでございます。ですからそこではもし、もしですよ、もしそれを主張するのであればですね、こういうことは大変失礼な申し上げ方かと思えますけれども、3月私が立候補して改修統合ということを上上げた時点でですね異論反論があつてしかるべきじゃないかというふうにも思いますが、この点はいかがでございませうか。それともう一つ、設置条例案が先行してるという御指摘でございますけれども、これは先ほど先の議員さんの御質問にお答えしましたように、このまま統合、改修統合を進めていく場合には、この条例の変更が間に合わなければ丸裸で事業をやるというような単独事業の形をとる恐れもございませう。そういうのを、勘案をいたしましてそしてこの条例案の改正をお願いいたしたところでございます。ですから、そういう意味ではこの条例改正案自体も、もというよりも、こそが、ある意味ではタイムリミットを迎えていると、そういうふうにご理解を賜りたいというふうに思います。

○議長（杉本和彰君）

7番 小山 暁君

○7番（小山 暁君） ただいま町長の方から答弁ございましたが、先ほど私が番城計画が今も生きていますと申し上げましたが、そのことに対して町長から今答弁をいただきましたが、一応答弁として受け止めておきます。この実は17日に参議院の本会議で小学校と中学校の9年間の義務教育を一貫して行う小中一貫教育を制度化する改正学校教育法が成立していますが、このことと連動する部分が大いにあると思えますので当時の番城計画の中でですね、学校規模等適正化審議会答申、あるいは当時の教育委員会からの具申等を読み直してみましたが将来の教育の方向というのは、小学校中学校の連携を重視した教育にすることが求められておると、そして同一地域内で同一敷地内であることが、より一層の教育効果を生むというそういう内容がそこに載っておりましたが、今回提案の学校設置条例の一部改正をですね、そのまま進めるとするならば、この答申や具申がですね、全く生かされなくなり、今後小中一貫教育を進める上におきまして支障をきたすとともに大きな私は障害になるのではなかろうかと予想されますがこのことについての見解を伺いたいと思います。

○議長（杉本和彰君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） 小山議員の御指摘の小中一貫校、私も拝見をいたしました。かつこれは相当前からですね、中教審で議論されてきたことでございます。これは決して開き直って申し上げ

げるつもりではございませんので前置きをさせていただきます。そこで申し上げればこの中高一貫、失礼いたしました、小中一貫校というのはですね、これは1地域、1町1市ではですねできません。恐らくできません。これが定着する、あるいは足並みがそろうためには少なくとも広域のコンセンサス、広域の準備、これが必要になるわけでございます。あるいは今行われております学童のいろんな行事それから中体連を始め中学校の行事、このへんの大幅な組み換えも必要になってまいります。ですからそういう意味ではですね、そういう意味では今こそ待つべきじゃないかと大きな金を使わずにその地域としての、広域の地域としての形づくりをですね一緒に模索してそれから取り掛かるべきじゃないか、べきじゃないかは間違えました。取りかけかろうほうがベターではないのかというふうにも考えます。小中一貫校がよくないとか、あるいはその準備するのによくないとかそういうことではありません。ただこれは1市1町ではなかなか制度的な問題でありますから突出して開始するというのはなかなか難しい。そのコンセンサスをしっかり取った上でそっちに踏み切らなければならないかというふうにも考えるところでございます。

○議長（杉本和彰君）

7番 小山 暁君

○7番（小山 暁君） 今回新たに出てまいりましたこの改修計画案ではですね、菊水区域の分離型、それから三加和区域の併設型の違いがですね、子どもたちの教育環境にですね大きな影響をもたらしたくないかと思っておりますが今回菊水区域の設置条例によりますと完全な菊水小学校が江田の2891番地、中学校が江田の4250番地となっております。完全な分離型として、分離型となっておりますが、従来教育委員会が主張されてきました同一敷地内であることを答申されておりましたその中で、その教育効果についてはですね、何も問題はないのか最後に教育長の方にお伺いいたします。

○議長（杉本和彰君）

教育長 小出正泰君

○教育長（小出正泰君） 小中一貫教育という面で、私たちは考えておるところでございます。ということは小中一貫教育というのはこれまでいろんな・・・、その他もございましてそういうのが国としてもよりいい教育方法ではないか、制度ではないかということで今あげられているところでございますけれども、小中一貫教育自身、内容面におきましては、これはこれまでも熊本県内におきまして、小中一貫校というのは非常に少のうございまして、県内でも豊野の小中学校が一貫校でございます。それから八代の方に泉が一貫校でございます。それ以前にもありました富合小中学校あたり、これも分離型の小中一貫教育を展開しているところでございます。そういうようなことで、私たちもより近くてそして子どもたちの交流と職員の交流、そういうようなことも合わせれば、より近いほうがいいのはいろんな面で考えられます。しかしながらこの場合、分離型ということで、だったとしてもこれまでの実績から県内の分離型の小中一貫教育実践校においても、それはできるものであるというふうに捉えて今進めているところでございます。平成27年度28年度は荒尾玉名教育委員会連絡協議会の指定を受けて小中一貫教育を進めようというこ

とで指定を受けて今研究を始めたばかりでございます。以上でございます。

○議長（杉本和彰君） ほかに質疑はありませんか。

2番 森 潤一郎君

○2番（森 潤一郎君） この学校設置条例の一部改正についてですけど、今教育長の答弁の中にありましたように、教育委員会の学校教育に対する我が町の教育理念あるいは方針ですね、その問題といわゆる福原町長が今回提起をされた6億9,000万の学校施設工事費の問題、これは一般質問等あたりでもあるいは過去の私自身のお尋ねの中あたりでも、いろんな角度から議論がなされてきております。ただですね、先ほどちょっと福原町長おっしゃいましたけど、地域的には時期尚早、いわゆる一貫校教育というのは時期尚早じゃないかしばらく様子見のほうが正解じゃないのかと、確かにそれも一つの考え方だろうと思います。ただ私がここでお尋ねをしたり、あるいは自分の意見を申し上げたいのは、教育問題ですから非常にやっばし将来の計を子どもたちに託す教育問題を考えるわけですからいろんな角度から議論あるいは手数、そういうことが必要になってくるんだろうかと、一応前町長の坂梨さんの時のいわゆるたしか12月議会だったと私は覚えておりますけど、一昨年ですね、議会の中でいわゆる凍結というような発言をされました。先ほど福原町長もおっしゃいましたけど、事業に対する凍結という発言そのことをどう受け止めるかはこれはそれぞれの人たちのそれぞれの立場の人たち、私はいわゆる番城計画は、そのままただ停滞しただけだなというふうに当時は受け止めておりましたけど、先ほど福原町長の見解もお聞きしてやっぱりそういう考えもあるのかと、だからいわゆる少ない金で学校問題を解決すべきじゃないでしょうかと訴えられたんだと、そういうことを先ほどお聞きする中で思ったんですね。そのいわゆる私が発言したいのはですね、学校設置条例の地番の変更ということが、非常にいろんな角度に影響を及ぼすということで、先ほど蒲池議員もおっしゃいましたけどいわゆる一つ経費的な問題がやれ21億だ、11億だ、6億9,000万だというように非常にぶれておる。それから教育委員会の教育方針というのがどういう形であるのか、いわゆる9月議会での958万の1万ですかね、私も失念しましたが、いわゆる設計予算を私たちが認めて、そしてそれで設計がなされた、その時の条件として番城グラウンドといわゆる・・・工事費との比較ができるような、そういう数字を出してくれというようなことの要望は出したと思います。そういうことがいっぱいあります。ですから、私は今の時点でこの地番を変える条例を提出をされるというのは一つ一つクリアしていきたいという気持ちはわかりますけど、やっばし私の立場からすれば非常に不安な状態になるわけですね。というのは6億9,000万の仮に数字でもってスタートしたならば、果たしてどれだけの金額が今後想定されるかというのが全然見えないわけですね。一般質問であるとか議会の中でのやり取りの中で教育委員会のほうの教育長の答弁だったかと思いますが自分達は年次的に計画を立てても要望を行政側にしていきたいと、そしてあれを作ってください、これをしてくださいという、そういうのが同時に今出てきたらある程度わかる範囲の中でプールの計画費であるとかあるいは食育とか私の一般質問の時に教育長がお答えになりましたけど、食育であるとかあるいは今の子どもたちは非常にアレルギーの問題を抱えてるから、やっばし給食センターあたりはぴしっとした新しいセンターがほしいと、じゃあそういうのはどういって並行

に進んでいくのかあるいは年次計画的に進められるのか、そのへんあたりはですね、ただ計画だけでは私たちはやっぱり判断はできかねるという部分があります。並行しながら数字というのもしゃっぱり示していただかないと参考材料にならないということになりますので、結論から申し上げれば私は今の時点で学校設置条例を提出されるのは時期尚早と町長は町長の立場でいろいろ申し上げられましたけど、私は議会の一議員の立場から今の時点では、時期尚早だから反対せざるをえませんという意志表明の形で意見を申し上げて終わりたいと思います。

○議長（杉本和彰君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） あえて御答弁させていただきます。そういう意味ではですね、前段の番城計画は生きてるのかどうかということについてはですね私の考えにも御理解をお示しいただきまして大変ありがたいというふうに感じます。それから後段の年次計画といいますか、そういう部分につきましては先ほど他の議員さんの御質問にお答えしましたけれども、A案、B案という計画は入っております。少なくともそれを超えることはないわけです。ですから、その中で例えばA案ならA案の中でですね、お話になりましたプールだとか共同調理場どれを優先してどういう具合にしたらよろしいかというようなのを承りながら優先順位をつけて計画的な補足といいますかね、改修を追加する必要もあるというふうに考えておるところでございます。以上でございます。

○議長（杉本和彰君） ほかに質疑はありませんか。

8番 高巢泰廣君

○8番（高巢泰廣君） まず、本案は、町長は従前の計画から統合案ということで進めておられますけれども、そうであるといえますならば、従前の番城グラウンドでの計画案10億8,000万ほど今年度の予算も含めると投入しているわけです。今後どういうふうに中央小学校に統合というような形を取られます、御提案されておりますけれども、とするならばですね、順序としましては私はまずは従前の事業をきちっと整理をして、やっぱり補助金申請等もしてございますのでこのへんは事務的な手続きも必要でしょうし、それから合併特例債等借りておりますので、このへんの繰上償還あたりも出てくるんじゃないかろうかと、場合によっては用途次第では、用途の変更手続きも必要な部分も出てくるんじゃないかろうかと思うわけです。そう言ったことを考えますとまずは前段のやつを整理をして、そして新たな事業に入っていくというのが筋じゃないかというふうに思います。それからまた小中一貫校制度化ということで法律も改正されまして、来年の4月から施行というような形になっております。時代の流れはやはり小中一貫校へ舵を文科省がきったということでございますので、今後はそういう方向にこれは選択肢の一つだというようなことも書いてございますけれども、流れはそういう方向にございますので、やはり今整備をすることであれば将来を見越した対応も必要じゃないかということで、私は今回提案されておりますこの条例につきましてはですね、時期尚早というふうに思うところでございます。そういったことから対応したいと考えます。以上です。

○議長（杉本和彰君） ほかに質疑はありませんか。

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） 御質問受けっぱなしではいけませんので御答弁申し上げます。番城グラウンドの総括が番城グラウンドではないですね、番城グラウンド周辺の総括が必要じゃないかとそれが先じゃないかというようなお話でございます。確かにそれは必要なんです。ただ既存校舎を利用した統合が決まらないとですね、決まるのが先決で決めてそれを番城グラウンド周辺の造成地をどう活用するか先般も建設課長がお答えしましたように、既に10億なにがしかの資金が投入をされております。これ以前にも申し上げましたけれども、かつての今も生きてると思いますが、町民総合グラウンドこれは御案内のように、自己資金3億5,000万か8,000万を当時あるいはいろんな例えば高速道路当時の高速道路公団ですとか、自衛隊ですとかいろんな方々のお骨折りをいただきながら、また先人が最初は補助金が来ないから農村広場ですか、というような形で営々として築いてこられた番城グラウンド、この部分恐らく費用に換算すれば10億以上の費用がかかっているんじゃないだろうか、これは推測です。推測です。ですから問題があるかもしれませんが、あえて推測ということで、じゃなかろうかと。番城に校舎を建設しました場合は、基本的には学校のグラウンドということになってしまう。したがって、同じ10億であれば水はけの良い400メートルトラックの番城総合グラウンドはそのまま子どもたちのため、あるいは町民の皆様のため、また一番大きな問題であります、インターの近さを利用して交流人口の増加、それから町外のあるいはもっと広くいえば県外のいろんな中学生高校生をお招きして、あるいは御利用いただいて我が町の中学生、高校生の小学生、中学生、高校生のレベルを高める、そういう意味でスポーツの振興施設というふうに有効に社会資源として、有効に利用させていただくという思いでおります。これは一般質問でも申し上げましたように検討委員会を設置したわけでもございませんし、私の今のところは試案ということでございますけれども、改修による統合を進めさせていただければ、すぐさまそのへんの検討には入らせていただく、それで御意見を聞きながらしっかりと計画案を立てさせていただくというふうに考えているところでございます。にわとりが先か卵が先かという議論はありますけれども、私はそういうふうに考えておるところでございます。またもう一つの御質問の中に地方債の返還の問題ということでございましたので、そのへんは担当課長の方から答えさせていただきたいと思っております。

○議長（杉本和彰君）

総務課長 高木洋一郎君

○総務課長（高木洋一郎君） はい、高巣議員の御質問に対する町長の答弁の補足をさせていただきます。先ほど議員御指摘のように平成22年から本年の予算までいれますところ約10億5,000万の公費を投入いたしております。その内、合併起債は合併特例債を活用いたしております、5億6,000万程度、それから元気交付金1億程度、あとは一般財源でございます。この特例債と元気交付金につきまして、仮にですね、番城地域に学校を建設しないとなりました場合には今後その国、県等との調整も必要でございますけど、合併特例債の場合は新町建設計画に掲載をされた施設に変更するというのであれば話は通じるのではなかろうかと、この点については総務省ともお話をしたところでございます。それから元気交付金につきましてはですね、使途に

指定をされておられません。ですから当時は学校建設ということで、そのお金を受領して使っておりますけれども、その制度というものが現在整備されておられません。返還の整備がですね、そうしますと、会計検査というものがございますので、そこで指摘された場合は返還に応じなければならないのではないかと予想をされます。合併特例債については先ほど申しましたように新町建設計画に掲げた事業、施設以外に転用するとなりますと償還の義務が発生するものと思われま

○議長（杉本和彰君） ほかに質疑はありませんか。

13番 荒木拓馬君

○13番（荒木拓馬君） 13番、荒木です。6月の11日にですね、住民から小中学校併設型の校舎建設の要望書があがって議会の方にもあがってまいりました。町長の方にもあがってきておるかと思いますが、いろいろ今まで6項目にわたって住民の方々というか要望書の中にはですね、疑問の点が書き出されておったと思いますけれども、そういうものが菊水の番城グラウンドにですね、建設してほしいという要望書になっているかと思いますが、こういう中で町長が中央小学校に進められるというか、そういう心境というのがですね、なかなか意に反したものであろうと思いますので、町長、どのように受け止められたかお伺いをいたしたいと思います。それと中央小学校ですけれども、何年前からかわかりませんが正門が全然開かれてないということでですね、開かずの門という形になっているようですけども、その理由がわかる人はちょっとここで答弁をお願いいたしたいというように思います。

○議長（杉本和彰君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） はい、お答えをいたします。まず前段部分の住民の方からお声が上がっているという部分につきまして、私も直接御要望を頂戴をいたしております。これは先般ですね町の職員に対しましてもお配りになりました。職員から相談があった時に、それは主張だからお配りされるのは許しなさいというふうに指示をいたしました。これは主張ですからこれを私が正しいの間違ってるだのやめろどうだという権利もありませんし、またそれを留める事はできません。ただ、申し上げたいのはそういう声は挙がっております。逆に私の今進んでる方向を支持していただいている方も山ほどいらっしゃいます。ですからそういう意味では、私は私の今の方針を貫かさせていただきたいとそういう思いでございます。それからあとの中央小学校の正門の問題ですね、これは、ほかに要素があれば補足させますけど、私が認識してる部分については前を県道が通ってる、そこで何回か事故があった、だからあの正面を開けておくのは危ないだろうということで正面は開けないということにされてると伺っております。したがって、正門につきましては付け替え等々あるいは用地の取得等々を考えた上で正門の部分については危険のないように、ないよというのほどこへこの中央小学校に限らず危険がないよにとないというのはなかなか言い切れませんので、危険を軽減するような方法を工事させていただきたいとそうふうに考えております。

○議長（杉本和彰君）

13番 荒木拓馬君

○13番（荒木拓馬君） 中央小学校ですけれども、三加和の人間からすればやっぱし事故のあったところとか死亡事故はなかっては思いますけどよくわかりませんが、それもあったやにも聞いておりますし、やっぱしその縁起担ぎとかそういう部分からすればちょっとどうかという心配をするところでもあります。そういう面からすればですね、番城グラウンドの方が場所的には環境面では私は相応しいというように思っているところがございます。要望書に関してですけれども先ほど議会の方では配布ということになりましたけれども町長が課長各課です、見ていかうようなことを言われましたけれども、是非配布ということですので職員の方々にもですね、回覧ということをお聞きしたんですけれども回覧よりも配布と、なぜ配布にされなかったのか許されなかったのかということで町長誰が言われたかわかりませんがちょっとお聞きをいたしましたので、なぜかということをお聞きをしたいと思います。それと六つの疑問点があるようでございますので、よければせからしいかもしれませんが町長の真意というかな、の部分で答弁じゃありませんけれども、返答されればどうかというように思いますけれども、それに対して町長の御意見をお伺いしたいと思います。

○議長（杉本和彰君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） はい、まず、前段部分です。かつて事故があったからそういう場所であるから心配するんだよというお話でございます。もう当然です。もうみんなそうだと思います。私もそう思います。そういう意味では先ほどお答えしましたようにそういった部分を極力回避できるような計画をお示し申し上げたいというふうに考えますのでよろしくお願いを申し上げます。それから心配ということにつきましてはですね、こういうのをこういう議会の場で申し上げるのもいかなものかとは思いますが、お許しをいただいてあえて申し上げたいと思いますけど、その場所場所につきましてはですね、いろいろいわく、因縁つきがよく御存じのようにあります。ですから、番城地区においても地元の方はよく御存じでございますけれども、もろもろございます。ですから、そういう心配を番城だったら番城、中央だったら中央でそういう懸念を軽減する少なくする100%なくせれば一番いいんですけれども、軽減するという方向で、またお示しを申し上げたいというふうに思っております。ただこれは何度も申し上げてますように基本設計施工設計の部分がですね、必要になってまいりますのでその暁にはいかがでしょうかと打診を申し上げたいと、それからなんで回覧にしたかということでございます。役場といえども施設内でございますので、そういう意味ではいわゆる勤務時間中に一人一人の席を回るのはいかなものかということで私が判断しました。そのように職員に指示をいたしました。ですから例えば、玄関なら玄関で時間を定めてお配りいただくのはこれはもうちっともやぶさかではございません。ですからそういう意味です、お願いを申し上げた次第でございます。ただちゃんと回覧を各課しておるようでございますので、間違いなく職員も目には触れてるはずだというふうに理解をいたしております。

○議長（杉本和彰君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） はい、これは町民の皆様の御主張でございますので、ここでのあれは差し控えさせていただきたいというふうに思います。誠に申し訳ありません。

○議長（杉本和彰君） ほかに質疑はありませんか。

1 番 生山敬之君

○1 番（生山敬之君） この議案、和水町立学校設置条例これが否決された場合29年4月1日からの統合はできません。てことは三加和地区も合わせますと五つの小学校二つの中学校になると思います。そこで平成24年8月国、県から耐震化推進の通知がきてると思いますけれども、熊本県では27年7月1日時点で98.5%が完了してますけれども、未完了は5つの市町村のみであります。和水町では66.7%とワースト1の状況にありますけれども、このままの状態が進めばどのような問題が生じてくるとお考えでしょうか。

○議長（杉本和彰君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） はい。この条例案、ここで、失礼しました。条例案は別ですね。耐震改修がここで御承認をいただけないとなりますと時間的に非常に切迫をいたしてまいります。また、もし遅れれば遅れるほど子どもたちの安全に対する部分というのは、そのままそっくりリスクが毎日毎日受け継いでいくというようなこととなります。ですから、そういう意味では災害というのはいつ何時、というのか降ってわいてくるのかわかりませんのでそのへんにつきましては、子どもたちのためには一刻も早く耐震だけでもさせてあげたい、それからもう一つにつきましては、もう一つの部分は平成24年にそういう文科省それから熊本県の学校教育長からの通知を受理いたしております27年度いっぱいにはですね、この対応を完了しなさいという御通知を頂戴をいたしております。ですから、そういう面では非常にこれができないとなると通知に対しましても、大変申し訳ないという形になってしまいますし、またこれはある意味ではいらぬことかと思えますけれどもある意味では重要なことですが、おそらく今年度いっぱいでは熊本県下の各市町村ともに耐震補強は完了するものと思われまます。和水町も肩を並べて完了したいとそういう思いでいっぱいでございます。このままでございますとそれもかなわないということになります。

○議長（杉本和彰君）

1 番 生山敬之君

○1 番（生山敬之君） 仮に、この五つの小学校二つの中学校の耐震化率100%にするならば、子どもたちの安心安全を守るためにも実施すべきと思いますけれども、その後で統廃合した場合廃校になった校舎の耐震費用は、返還しなければいけないものなのかどうか教えてください。

○議長（杉本和彰君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） 返還という部分についてすいません、私がつぶさでございませぬので、担当課長のわかる範囲でお答えをさせていただきます。

○議長（杉本和彰君） しばらく休憩します。

午後は1時から会議を開きます。

休憩 午前11時57分

再開 午後1時00分

○議長（杉本和彰君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

学校教育課長 吉田 収君

○学校教育課長（吉田 収君） 先ほどの生山議員さんの御質問に答弁が漏れておりましたので、お答えしたいと思います。耐震補強を行ったあとに学校統合等によりまして、その学校が施設でなくなったような場合に、その耐震補強関係の国庫補助金、それは返納の義務が発生するのかといったような主旨だったというふうに思います。以前の取り扱いでは、耐震補強の工事10年以内の多くの場合にはですね、補助金相当額の国庫納付を要しておりました。しかし、平成20年の6月に改正がございまして、耐震補強工事完了後10年未満でありましても無償の処分これをする場合には、承認申請の上原則として補助金は返還する必要はないという取扱いになっております。大変失礼しました。

○議長（杉本和彰君）

1番 生山敬之君

○1番（生山敬之君） 調べていただいてありがとうございました。ただ、このまま設置条例が否決され、この状況が進めば、三加和、西、東、南、中央小、また、三加和中、菊水中二つの耐震改修率、100%にする義務があると思いますけども、町長もこのことは理解されてると思います。町民の願い、子どもたちの願いは、複式学級の解消であり、安心安全な教育環境の確保であると思います。耐震改修後最低でも、私は、10年間は学校として利用すべきと考えますが、解体費用の問題も踏まえたと、一般質問でも申し上げましたが、東と西、中央と南の2校ずつの統合がベストではないがベターだと考えるところです。本議案が否決された場合でも、一刻も早い子ども達の安全安心の確保が最優先事項であるということについて、町長の見解をお伺いします。

○議長（杉本和彰君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） 生山議員の、御提案と言いますか、御助言、真摯に受け止めていただきたいと思います。まずは今お願いしております、中央小学校を起点としました統合に、御理解に全力を傾けたいと思いますけども、あとはまた、そのへんのところの必要性があればですね検討もしなくちゃいかんかもしれませんが、今のところは、中央小学校ということで、全力で取り組ませていただきたいと思います、そういうふうに考える所でございます。

○議長（杉本和彰君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

9番 庄山忠文君

○9番（庄山忠文君） 9番議員の庄山でございます。和水町町立学校の設置条例の一部改正ということで提案をされております。私はこの提案に対して反対討論を行います。私は、8年前、もう9年近くなりますが、その時点から、番城という学校統合を進めてまいった者でございます。一般質問でも、町長との対話をやりました。しかし、町長との対応で、町長はあくまでこの中央小、というような方針で行くと、私は、番城で進めていただきたいというふうで申し上げたところでございます。そういう中で、平行線で終わったということでございます。私は、この設置に対しては、中央小にやるということでございますので、私はこれには反対を述べさせていただきたい。なぜ、この中央小に対して反対なのか、私はさっきも述べましたとおり、安全安心の面この中身として、さっきも町長は申し上げられました、交通の非常に危険な道路が前を通っている。それは、改修はして安全にやるということでございますが、しかし、県道は動きません。そこにはいろんな交通の大きなトラック、ダンプ、そういう危険な道路を、やはりすぐ横に持っておる、そういう面で安全性が本当に大丈夫なのかということ、一つ、私は考えたわけでございます。番城であるならば、その面、何ら今のところはないんじゃないでしょうか。それと、安心の面ですが、この学校は、今、補修をやられました。補修が昨日、補修をやった後にですね、これが二、三年しかたもてんとだろうというようなお話で、ちょっと、我々議員が現場に行ってお話を聞きました。それには、始末書、顛末書あたりも書かせて、本当にこれは遺憾だったというような業者さんのお話を聞きました。しかし本当にこれが、今補修をして、それが20年30年本当にもてるのか、その建設会社に対してのはっきりした返事はありませんでした。だから私は、安心安全な学校なのかと、それを私は思うわけでございます。それが安心安全に対しての、私は疑問点。番城で、新築でやれば何ら問題ありません。それから財政の面でございます。財政の面においては、町長は今度の予算の中で、6億9,000万という数字があがってきました。そういう中でですね、本当にそれだけでいいのか、今後どれくらいの費用がかかるのか、これも提示はされませんでした。今まで、21億の線で、その次に10数億の金でと、それが基本でございます。しかし、事業をやるためには、はっきりとした筋書きがあって初めて事業はやるべきではないでしょうか。番城でははっきりした数字が出ております。私は21億で修正動議を出しました。なぜ出したか、この修正動議はですね、番城での金額、そして今度改修での金額、それを958万での設計委託料、改修計画の予算、これを通してどうぞやってください。そして、それを見比べようじゃございませぬかというような、私は予算を賛成をしました。それは21億。そしてその数字は、あまりにも新築の予算と似た数字が出てきました。だから私は修正動議をやって、ちょっと待ってください。そういうことなんですよ。そして、修正動議を出した私に対して、共産党の赤新聞では、私が書いていないようなことがはっきり出しておられます。私が出しました。私を書きました。そういうことです。そういうことでですね、この財政の面、これも一つの反対する要因でございます。それから環境の面、これはですね、番城では、自然の中であれだけ広大な流れの中で勉強をして、運動を精一杯やっていただきたい。今、菊水中では、運動場が狭いと、陸上の人たちは番城でおそらく練習をされていると私は思っております。私が何度か行って、番城での練習をされておりました。そういう中学校の運動場なんです。それと、菊水中央、これも、今の小

学校で、どうかこうにかできとるぞと、しかし、どんどん頭数を統合すれば、まだ、必要になります。そういう環境面。危ないとか狭いとか、駐車場の問題とか、そういうやつがいっぱいあります。環境の問題では。だから私は反対をします。耐用年数、これも、新築では70年、80年もちます。しかし、これは30年。もう実際的に相当経っておるわけです。壁も落ちたわけです。それも修理はしました。しかし、それ以外に落ちる可能性もあります。だから私はさっきも申し上げましたように、修理はしたが、本当に修理をして、20年30年もてるのかと。20年30年後、ここにおられる人はほとんどいないんじゃないですか。まあ何人かは若い人がおりますから。そうですね。それと5番目の、私は無駄なお金と。これは税金です。私たちの町民の方々国民の皆さんが、出し合わせたお金であります。そのお金を今までどれだけ番城につぎ込んだかと、これは議会でみんなで話し合っ、決めて出資をしたわけでございます。これが番城で使われんならば、完璧な、これは無駄遣いと、私は思います。取れるやつも取らずにと。26年、この番城の第2グラウンドの整備、これも相当かかりました。この中でもし、番城でこれを行っているならば、8,400万の出しでよかったんじゃないかと。これが、マイナスです。というような計算ができたと思います。この前の一般の質問の中では。そして、今後どれだけかかりますか、3,200万かかります。建設課の課長は言いました。これも予算を通せば、この中の補助もあつたはずですよ。あるはずですよ。それと、設計委託料、これは、完璧に1億3,000万、これはもう払っているわけです。これは紙切れ同然です。そういう、私は、無駄な金、相当使っておると。本当にこれをやるならば、私は番城にこの設置条例の一部改正を番城にしてくださいと、私は言いたい。そういうことで、この案件に対しては、反対と申し上げておきたいというふうに思います。以上です。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか。

5番 荒木政士君

○5番（荒木政士君） 5番議員の荒木でございます。私は、議案第44号、和水町立学校設置条例の一部改正について、賛成討論を行います。今、長々と反対討論がございましたけれども、私は一言、この条例を通さない限りは、子ども達を幽霊学校に通わせることになります。私は、いろいろこれから紆余曲折あるかと思えますけれども、この議案は賛成すべきだろうということで、賛成討論を終わらせていただきます。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか。

11番 杉村幸敏君

○11番（杉村幸敏君） 議案第44号、和水町立学校設置条例の一部改正について、反対討論を行います。私は一般質問で何回も学校統合問題については、番城グラウンドに場所をしてもらわなければいけないということを言っております。そういうことで本当は長々30分でも40分でも反対討論をしたい気持ちはありますが、何回言っても一緒ですんで、要約をして、重点的なところだけを反対討論をいたします。第一番目に、私達が思うのは、複式学級の解消、これは誰でも子ども達のため遅れるというのは当たりまえのことでございます。そして私が思うのは、安心安全な学校のためには、中央小学校の場所は、交通関係、建物関係、そういうことで、番城に、新しい学校に子ども達をやりたい、そういう思いで今までここで討論をしてきたわけでございます。いろ

いろ番城グラウンド関係については、イノシシが出るとか、火葬場跡だとか、いろいろな意見を町民の方から聞きました。それはさておきまして、それから先ほど町長は、公約を守るためには金額を下げなければいけない、これはやっぱり町長がのに迫られて、中央小学校の認識は、甘かったと認めざるを得ないと思います。蒲池議員の質問でも、そういう答弁だったと思いますので、それは私の方で、そういうことで、6億9,000万、その後また、中学校のプール、10年前、合併前に1億円予算を計上されました。そしてこれは合併するからその後につくろうということで、撤回をされました。そういういきさつもございます。中学校のプール、小学校のプール、これも6億9,000万のほかに、また金を投資しなければいけない、給食室も投資しなければいけない、おそらく管工事についても相当腐食をして、修繕が言ってくると思います。その度ごとに、そういうことが出てくるかと思しますので、おとといの一般質問ではそこらへんを皆さん心配をしておられたわけでございます。おそらく今度の6億9,000万がまだ何億かわからない。それがまた30年後には、建て替えなければいけない。二重投資になるかと思えます。先ほどありましたように、大半の人が30年後にはここにはいらっしやらないと思えます。そういうことで、30年後に建て替えなければいけないということを私は危惧します。

それから、小中一貫校、同じ場所に建てるのが小中一貫校でございます。新聞にも載っておりますように、町長は1市1町くらいじゃでけんておっしゃいますが、できているのを見ておりますので、これは見解の相違だと思えます。そういうことで、さきほども言いましたように、私は小中一貫校を是非進めて、子ども達に立派な教育を受けさせたい。そういう思いでございます。それから、1,000万くらいで耐震学校ができるという話もチラシに載っております。それは去年の選挙前の公約、共産党の公約、1,000万でできますか。1,000万でできるなら、そういう人が一つ、してもらえば、本当に安くあがる。やっぱり、真実を自信のある公約をしてもらわんと、困ります。以上、まだありますが、私は、新しい学校に良い環境で子ども達を勉強させたい、そういう思いで、この条例については、反対をします。そういうことで、私は、何回も申し上げますように、この予算については、もう一度考え直してもらわなければ、学校統合推進委員会にもこの前は21億円で答申をお願いしてあります。それが反故にされております。教育委員会は、私は独立機関ですので、何か教育委員会にもいろいろな抗議があつとるような、ちょっと耳に入りますが、教育委員会は教育委員会、議会は議会として、町長は町長の立場として、これを話し合いながら、一つ立派な学校をつくっていければという思いでございます。以上です。終わります。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか。

6番 松村慶次君

○6番（松村慶次君） 6番、松村です。私は、賛成討論をいたします。今上程されております、議案第44号、和水町立学校設置条例の一部改正に対する賛成討論をいたします。学校統合事業は現在の校舎の安全安心を守るためにも重要な事業であり、これを否決すれば菊水地域の小学校の統合はますます遅れることとなります。町民、またPTA保護者の方の願いでもあります。早期の学校を統合をするためにも、ただいま出されております、和水町立学校設置条例の一部改正に

対し、賛成討論をいたします。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか。

2番 森 潤一郎君

○2番（森 潤一郎君） 私は反対の立場から、第44号和水町立学校設置条例の一部改正について、討論をいたします。混乱を深めておりますこの学校問題について、質疑の中でも申し上げましたが、なかなか、福原町長は自分の意を曲げることなく、非常に辛抱強く頑張っておられることについては敬意を表したいと思えます。ただ、混迷は深まっております。そういう中で、なぜ私自身がこの問題で抵抗を示すような考え方の行動をするかといいますのはですね、ほかの議員さん方の意見の中にもありましたように、平成17年に南小学校の保護者から「複式学級が始まったから、統廃合の問題を町も真剣に考えてくれ」というような要望書が教育委員会の方に上がったように聞いております。それが発端になり、学校規模適正委員会、あるいは学校安全推進委員会、あるいは議会の特別委員会、各方面の審議会なり委員会なりが設置されて、議論をされて進んでいったわけですね。そういう中で、私も区長時代に前坂梨町長にちょっとこの問題で聞いたことがあります。「なんでこの問題を学校を番城に造るんですか」と「計画したんですか」ということをお尋ねした時に、環境問題、あるいは校舎の問題、それだけではありませんと。自分としては、番城グラウンドを中心に直ちに学校建設をやり、そして小中一貫教育を進め、そのことでもって、番城グラウンド周辺の教育環境を整えることで文教区的な発想を持っておりまして、それと当時ですね、今、南関の、あそこは米田区だったと思えますけど、南関の一番内田よりの方ですけど、今、公共産業廃棄物処分場が出来上がっております。この時に、県が発表した候補地の一つにこの番城の周辺も上がったんです。7地区ですね。あと、三加和の大田黒、それから菊池の原地区、たしかこの菊池川沿いは4カ所あったように覚えております。あとは宇土であるとか、他のとこでした。その7カ所の中の一つの候補地にこの番城が上がったことは事実であります。町長としては、そのへんを町民の方に公表されることはなかったように思えますけど、町長としては、当時いわゆるそういう公共廃棄物の設置場所が、いわゆる学校とか保育園とか、病院とかそういう公共の場所から直線距離で500メートル以上離れてないといけなと、そういう法律もあるみたいですので、それに触れないように学校建設計画も持たれたというふうに、当時私自身は思いました。私自身、非常に合理的な考え方だと納得をしておりました。そういう経過の中から、この番城学校建設問題が進んできたわけですね。あとのことについては皆さん御承知のとおりであります。12月の坂梨町長の凍結発言問題、その後の議会の動き、それから選挙戦の話。ただ、私はですね、今なんでこだわっているのかというのは、町の将来を考えた場合に、まちづくりは人づくりだろうというふうに私自身は思っております。人づくりは結局教育ということになるのではないのかなと、そうするとやっぱりそれなりの環境の学校を子ども達に提供して、その中でこの学校というものを、町外に売れるような学校を建設して、そしてその地を一つのいわゆる町の中心に据えていくという、そういう新しい発想もこの際必要ではないのかと、そういうことを考えておるのが私の偽らない気持ちであります。いみじくも一昨日どなたかおっしゃいましたけど、文科省の方から、いわゆる学校教育問題について、小中一貫校教育を2016年の

4月にはもうスタートするというそういう記事が載っておりました。確かに福原町長おっしゃるように、地域性の問題であるとか、いろいろ課題はあるでしょう。あるでしょうけど、それを何とか教育委員会は教育委員会なりに検討をされてですね、そして我が町の立派な教育理念、方針を打ち立てていただき、そしてその中で、この環境問題を、町長も金銭的な面から財政的な面からフォローをするというような考え方を立てないと、何かいわゆるもう一つ夢が持てない我が町になってしまいはしないか。夢が持てるということが、町民の大きな気持ち豊かな気持ちを持つ一つの因ではなかろうかというふうに思います。そういう立場からですね、私自身、非常にいわゆる小さなそれぞれの問題では、統廃合本当目の前に押し迫っている小学校の統廃合の問題、保護者の皆様が心の中いかに察するところがあります。だけど私もそのへんは、理解はしますけど、ここは踏ん張りどこじゃないでしょうかと、お互い頑張りましょうという素直な気持ちから皆さんにお訴えをしながら、反対の討論といたします。御清聴ありがとうございました。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか

10番 池田龍之介君

○10番（池田龍之介君） 10番の池田です。今、提案されている議案につきまして、賛成討論をさせていただきます。その前に、先ほど森議員がいろいろ言われました。その時、いみじくも私は菊水町議会の議員の一人でありましたので、森議員が言われたことに対して、補足をさせていただきます。それは何かと言いますと、番城に産業廃棄物の処理場候補地として、点が上がっていたことは確かであります。その時、菊水町の議会では、小学校統廃合特別調査委員会というのがありました。その答申を、この席上で、当時議長であった坂梨豊昭さんが行われました。中間報告ということでですね。その時の中間報告は、森議員も言われましたけれども、法律で、学校やそういう施設がある半径500メートル以内であれば、そういう施設は作れないということを利用して、学校施設を建設するのも、選択肢の一つであるという文言を織り込んで、答申をというか中間報告がこの席で坂梨豊昭氏の口から報告がなされました。その時、当時菊水町議会議員でここに残っておられる方は、杉村議員、それと、私の後ろに座っておられる議長ですね、それと私、この3人しかおりません。その時、特別委員会の中で、意見が出ていたのが、経済財政問題を考えて、既設現有施設を有効活用して統合することを考えましょうということは申し合わせになりました。それは、その急先ぼうであったのがですね、森議員の奥さんですよ。森恵子さんです。そこで、その特別調査委員会では、もし小学校の統合をするならば、現有施設を活用し、財政にひっ迫をしないような方向でいこうということ、菊水町議会の中では申し合わせをしておりましたことを皆様に御披露いたします。そして今から賛成討論に入らせていただきますけれども、いろいろ、反対、賛成、意見はあると思いますそれぞれ。しかし、無駄遣いでしょうか。私も一般質問の前語りとして言いました。今、耐震改修の指示が、指摘を受けている小学校、中央小学、そこに120数名の児童が通っているんですよ。いつ地震とか自然災害が来るかもわかりません。それをこの提案には関係ありませんけれども、次の提案の一般会計の方に上がっております。だからあえて言わせていただきますけれども、じゃあその時しなかった場合ですね、児童が死んだ時その命の保証は誰がするんですか。人の命の責任は誰にも取れないんです

よ。私はそこのところを強く皆様にお訴えしたいと思います。そして今反対されている方々の御意見を聞いていますと整合性に欠けます。それは何かと言いますと、平成25年の12月の定例会の折、先ほど町長が答弁されたと思いますけれども、前の町長である坂梨豊昭氏がここでか町長席だったか私も定かではありませんけれども、この学校統廃合番城グラウンドに建てるということ凍結しますと言われました。ある議員の質問に答えられました。3月まで、選挙が終わった後、新執行部、新体制でお願いしますということで凍結を宣言されました。その時、第2代目の和水町町議会議員の方々だったと思います。今が3代目ですので、その時、町長のその意見に対して、坂梨豊昭氏を支持する議員の方々からも、何の異論も出ませんでした。それは、異論が出なかったということは、坂梨町長の凍結を認められたということではないでしょうか。それともう一つ、今年の3月定例会において、番城グラウンド設置条例廃止案が出ました。その時も質疑も討論も何もなく賛成されました。この議場というのは三法分権で言うなら、立法府です。小さな国の立法府なんですよ。そこで番城に学校を建設するのを放棄する。廃止条例の時にも質疑も討論も何もなく賛成されているではないですか。そして今になって反対と中央小学校の方に学校をするのは反対、番城に建てたい、整合性に欠けるにもほどほどしい。私はそう思い、私は番城に建てるのは反対です。選挙運動もそれで戦ってきました。そして私は町民のある一部の信任を得て、この場の末席を汚しております。よく町民の負託を得た、町民の負託を得たのは町長一人です。その他の方々は一部の信任を得てこの場におけるわけと私は考えます。私は、選挙戦以来、中央小学校改修、それで戦ってきました。それでこの条例案には賛成をいたします。終わります。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は起立によって行います。

議案第44号、和水町立学校設置条例の一部改正については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（杉本和彰君） 起立少数です。したがって議案第44号は否決されました。

日程第6 議案第45号 平成27年度和水町一般会計補正予算（第2号）

○議長（杉本和彰君） 日程第6、議案第45号「平成27年度和水町一般会計補正予算（第2号）」を議題とします。これから質疑を行います。質疑はありませんか。

10番 池田龍之介君

○10番（池田龍之介君） はい、10番です。11ページから17ページまでですね。歳出の中で、一般職員の給料としてですね、増額合計3,010万4,000円、減額合計で3,345万円、差額が減額の334万6,000円が計上されております。また、職員手当等で増額分1,765万5,000円、減額分1,332万2,000円、差額プラスの433万3,000円となっております。そうするとですね、これは、理由は異動によるうんぬんという文言で綴られておりますけれども、職員手当でですね、扶養手当79万

8,000円、児童手当106万5,000円増額、その他ありますけれども、3月の当初予算からまだ3か月しか経っていません。児童手当はお子さんが産まれたら、児童手当どうのこうのは出てくるかもわかりません。扶養手当、扶養異動がこんなに多くあったのかどうかですね、これを御呈示お願いしたい。それとあと一つ、これは初日、議長の諸般の報告の中に東京出張の件が載っておりましたのであえて質問させていただきます。建設関係のところに旅費の補正が出ておりません。その時建設課長も同行の上東京に行かれたと私は認識しておりますが、この話は急きょ出た話であって、当初から予算には組み込まれてないと私は解釈をしております。それで、建設部門並びに議会部門で旅費の補正はなぜ組まれなかったのか。私、それと議長も同意見と思います。流用というのはあります。地方自治法で。同一款項の中では流用が許されております。しかし私は、流用というのは一番好かんですよ。議長も常々それを言われていたと思います。なぜ補正を組まれないのか。それとも、もともとそういう予算を組まれてたのか、じゃあ我々に説明不足の責任が出てきますよね。どうだったのか、答弁をお願いします。

○議長（杉本和彰君）

総務課長 高木洋一郎君

○総務課長（高木洋一郎君） 前半の職員の給与について、お答えをいたします。昨年の議員からの御指摘で、定年退職予定者についてはこの中には含まれておりませんで、退職を想定した上で計算をしておりました。給料のマイナスにつきましては、特別会計と一般会計の行き来の移動による差額でございます。マイナスになったというところですよ。それから、それともう一つ、予算編成後にですね、退職の申し出があった職員もございますので、それで大きな減額となったところですよ。それに対して採用が6名ございました。それから、扶養手当と児童手当の件ですけれども、児童手当の方はお子さんが採用それから異動等に伴いまして、会計を移動します。特別会計から一般会計へとか、そういう観点とお子様が新しく誕生をしたというようなところですよ。それから、扶養手当につきましてもですね、結婚、それから、御両親の扶養等々も新たに加わるということもありますので、これは今後3月までを計算しておりますので、そういう結果となったものでございます。以上、給料のことについて御説明を終わります。

○議長（杉本和彰君）

建設課長 池田宝生君

○建設課長（池田宝生君） 池田議員の御質問にお答えしたいと思います。今、お話がありましたように、私、5月にですね、要望活動に行かれた際に、建設課長としてですね、町長からの指示がありまして同行しております。その中の旅費の予算でありますけれども、建設課内の道路予算の中にですね、年間を通じた用地交渉等の出張旅費等ですね、それから、その他ということでの予算をですね、予算化しております。一応その中からですね、旅費の支出をしております。以上でございます。

○議長（杉本和彰君） しばらく休憩します。

休憩 午後1時53分

○議長（杉本和彰君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

事務局長 松尾裕二君

○事務局長（松尾裕二君） 失礼します、先ほどの池田議員の御質問にお答えします。玉名八女線道路促進整備期成会からの支出ということで、議長の分の旅費等につきましては補正をしておりません。以上でございます。

○議長（杉本和彰君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） 関連いたしまして若干補足をさせていただきます。建設課長の出張につきましては、事務周りその他の所要の必要性があると考えて私が出張の命令をいたしました。それから、今お話もございました玉名八女道路整備促進期成会につきましては、八女と近しく連携を組んで玉名八女線の整備の要望をいたしておるところでございます。当然両町の行き来もございまして、玉名八女線につきましてはこの陳情等々につきましてはこの分からの出張その他につきましてはこの分から費用をまかなっておるという状況でございます。

○議長（杉本和彰君） ほかに質疑はありませんか。

10番 池田龍之介君

○10番（池田龍之介君） 建設課長が道路の土地購入どうのこうののあれで、旅費ということを言われましたけれども、東京で土地の交渉かなんかされましたか。それとですね、3回だけん含めて言います。それと、じゃあ聞きますけど、たぶん要望書の中には、和水町道路推進整備協議会長杉本和彰という名で要望書が提出されていると思います議長名でないのになんで諸般の報告をされるのか意味がわかりません。議長職で行って初めて諸般の報告が議長からなされるものと思います。議長職でいかれたんですか。議員みんなの賛同のもとに行かれましたか。ただ雑談的な話でですね、その時誰からの意見もでんだったけん、承認された。そんな子ども騙しに子どもみたいな話し合いのもとに全員一致で賛成したと言えますか。私はちゃんと全員協議会の議題にあげて協議すべき事項じゃなかったかと思います。もし協議会長名でいかれているならば諸般の報告を取り消し願いたい。議長職でいかれているならば我々議員に謝罪をしていただきたい。以上です。それとあと一つ、健康福祉課長にお尋ねいたします。私と4番議員が一般質問をいたしました学童保育の件ですけれども、ここに入りの方で43万1,000円減額、出の方で134万6,000円補正が上がっておりますけれども当初予算はどうであったのか。

それと何で減額になったのか支出もそうですけれども、それぞれの理由を御説明願いたい。

○議長（杉本和彰君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） 建設課長が答えしようと手をあげましたけれども、補足があれば課長からも発言してもらいますけれども、先ほど東京で用地の交渉があったかということでございますけれども、この玉名八女線につきましては、ご存知のように懸案の道路でございます。ですから

そういう意味では事務その他もろもろ精通したものまたこれからつまびらかにしておく必要のある業務ということで私の方で出張を命じた次第でございます。

○議長（杉本和彰君） しばらく休憩します。

休憩 午後 2 時11分

再開 午後 2 時20分

○議長（杉本和彰君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

健康福祉課長 今村裕司君

○健康福祉課長（今村裕司君） 池田議員の御質問にお答えします。まず放課後児童健全育成事業補助金歳入の方なんですけど、予算書の9ページになりますけど県支出金の県補助金の2目民生費県補助金のところの放課後児童健全育成事業補助金の43万1,000円の減額につきましては御説明を申し上げます。これは、県の補助金が26年度から3分の2の補助がありましたけど27年度が3分の1に補助率が減額された分で減額になっております。ただし、歳出の方を御説明申し上げますけど歳出の方では基準単価は増額になっていることになります。歳出の方は13ページになります。13ページの民生費児童福祉総務費の中の委託料で放課後児童健全育成事業委託料が134万6,000円の増額になっておりますけど、増額の方は基準単価が放課後児童健全育成事業補助金を計算するとき基準額+開所の日数の加算、長期期間中に関する長時間の加算がございまして単価的には一つ一つ基準額、開所日数加算の基本額、長期休暇中の長時間加算額が増額になっております。そのへんで歳出の委託料の方が増額になるんですけど、県の補助金補助率の方が3分の2から3分の1に減少しますので、補助金の方は減額という形になっております。以上でございます。

○議長（杉本和彰君） ほかに質疑はありませんか。

10番 池田龍之介君

○10番（池田龍之介君） 今健康福祉課長の方から説明がありましたけど自分は能力がないから理解できなかったんですけど、これが最後3回目になりますのであれですけど、一人頭幾らの金額になるのか、一人頭というところがちょっと不適切な文言になります。児童学童保育一人当たり幾らの金額になるのか、それと一般質問でも申し上げましたけども、超過される希望が、超過者の方が私が聞いた時は17名、その後1人辞退されているから、16名というような御答弁でありましたのでその16名の方々にも同じような結局手当てというか、それを一刻も早くしてやらないと不平等性が生まれてきているわけですよ、ここで。だから一般質問の時にも言いましたけれども夏休みまでというようなことじゃなくてやはり縦割りじゃなくて横の関係をですね、十分に生かして学校教育とか社会教育とかそちらの方とも協力をしながら、一刻も早く希望されてる方々超過されてる16名の学童のことを一日も早く解決してほしいと望んで、私の質問を終わらせていただきます。よければ答弁をお願いします。

○議長（杉本和彰君）

健康福祉課長 今村裕司君

○健康福祉課長（今村裕司君） 御質問ありがとうございます。今年度から始まった学童保育菊水保育園の方でやっている分でございますけど、申されたように16名の方が通われられない状況になっておりますので、そのへんはなるべく早く対応していきたいと思っております。今、学校教育課とも調整をしながら進めているという状況でございますので、よろしく願いしておきます。それから学童保育の一人当たりになるんですけど、補助金委託料の方からしますと一人当たり16万3,000円程度になります。委託料が、このうちの3分の1は県からの補助がありましてあと3分の2は町が一般財源で補填するということになります。以上です。

○議長（杉本和彰君） ほかに質疑はありませんか。

12番 笹渕賢吾君

○12番（笹渕賢吾君） 12ページの民生費ですね、その中の28社会福祉総務費の中の繰出金国保会計への繰出金、それからその下の介護保険事業会計への繰出金、それから特別養護老人ホームの繰出金ということで計上されておりますが、これはこの後に提案されている内容につながっていくかと思いますが、この今回提案されている中身を金額の内容を伺いたいとそれが1点と。2点目に、この繰出金が拠出されたことによって幾らになるのかそれぞれの特別会計ですね。それからもう1点、3点目ですが何パーセントまで一般会計からの繰入れがそれぞれできるのか、そういう制限がありましたらお聞きしたいというふうに思います。

○議長（杉本和彰君）

総務課長 高木洋一郎君

○総務課長（高木洋一郎君） 笹渕議員の三つの特別会計への繰出金の根拠でございますが、これは人件費に伴う増減でございます。ただし、介護保険事業会計への繰出金はマイナスになっておりますが、これは人件費も含め介護保険料の低所得者への負担軽減策との差し引きによるものであります。その具体的な用途につきましては別途各会計で御説明があるかと思っております。

○議長（杉本和彰君）

税務住民課長 山下 仁君

○税務住民課長（山下 仁君） 国民健康保険特別会計の繰出金373万7,000円についてでございますけども、初日に提案理由のところで説明させていただきましたけれども、職員の給料と職員手当で合わせてですね、4月の人事異動に伴いましてその増額ということで一般会計からいただくようになってるものでございます。以上でございます。

○議長（杉本和彰君）

健康福祉課長 今村裕司君

○健康福祉課長（今村裕司君） 介護保険事業会計への繰出金への内訳を申し上げます。今、総務課長の方からありましたように、人件費の補正の分が減額の547万2,000円になります。それから低所得者保険料負担軽減分が248万4,000円で、マイナスの298万8,000円を減額をしているところでございます。減額後の介護保険事業会計の方は15億9,602万1,000円となります。今回の補正の繰出金の内訳としましては、100%介護保険会計に繰入れをしていただいております。以上で

す。

○議長（杉本和彰君） ほかに。

特養施設長 坂本誠司君

○特養施設長（坂本誠司君） 特老の方の繰出金742万円でございますけども、先ほど総務課長が申しましたように人事異動でございます。定期4月の異動と4月1日に1人採用になっておりますので、職員が1人増えた分のところでございます。繰入金の当初からの金額ですけれども2,832万4,000円でございます。このへんの上限、パーセントちゅうのは存じておりません。以上です。

○議長（杉本和彰君）

12番 笹渕賢吾君

○12番（笹渕賢吾君） 今最後の方で特別老人ホームきくすい荘ですね、そっち関係が今答弁されましたが他のところの先ほどいいました合計ですね、合計とこれまで一般会計から繰り入れる合計額、それから限度額といいますか何パーセントとかそういうのがありましたらお聞きします。

○議長（杉本和彰君）

税務住民課長 山下 仁君

○税務住民課長（山下 仁君） 一般会計からいただく繰入金は四つの要因がありますけども、今回補正させていただいているものは人件費でございます、いわゆる保険税で対応しない部分というようなことで全額対象となっているところでございます。従来からですね。併せて一般会計の当初予算での繰入れの総額が8,508万7,000円から373万7,000円を足しまして、補正後は8,882万4,000円となります。以上です。繰入れのパーセントですか。ちょっと言葉が足りませんでしたけども、一応人件費につきましては100%です。人件費につきましては総額、全体を丸々いただくよう法令上で定められてます。いわゆる人件費にかかる分については100%一般会計から補っていただくことになっているところでございます。

○議長（杉本和彰君）

健康福祉課長 今村裕司君

○健康福祉課長（今村裕司君） 一般会計からの繰入金の総額は、この298万8,000円を今回減額しますと、2億3,590万7,000円となります。全体の予算総額の14.2%となりますけど繰入れの割合関係なんですけど事務費の繰入れは100%繰り入れることになってます。事務費関係、人件費等はですね、介護給付費関係は12.5%を一般会計から繰り入れることになっています。以上です。

○議長（杉本和彰君）

税務住民課長 山下 仁君

○税務住民課長（山下 仁君） 今、議論になっております、職員手当等と助産費と国保会計の安定に資するものと安定基盤に関するものの四つの項目において、法令で決めていただいておりますその法令分について、今年度も従来からもそうですけどもその分の上限額を繰入させていただいているところでございます。以上でございます。

○議長（杉本和彰君） ほかに質疑はありませんか。

9番 庄山忠文君

○9番（庄山忠文君） 16ページの、学校統合事業費の中の質問をさせていただきたいと思えます。事業費の中に耐震、この事業費は入っておりますか、その点一つ。それと入っておるならば仮にこれは中学校の耐震あたりが入っているならば、これのさっきもちょっとでましたが、あとのいろんな補助事業関係これの建て替えとか改修とかというような形での補助事業に対しての今後の補助事業に対しての影響はあるのか、ないのかその点二点お伺いしたいと思います。

○議長（杉本和彰君）

学校統合室長 樋口哲男君

○学校統合室長（樋口哲男君） 庄山議員の御質問にお答えします。16ページの学校統廃合事業の補正予算に耐震関係の分が入っているかどうかという事ですけど、一応設計料の中にはその分は入っております。それからもう1点仮に今後予定というか改修に対してそのへんの影響ということをごさいますけど、今の耐震だけを先にした場合ということですかね、そうしましたらいわゆる耐震改修だけの工事をした場合ですね、それは先にしますけど将来的にはその他の例えば屋根とか木質化とかいろいろあるかと思えますけど、いわゆる予算というか金額的に無駄じゃないんですけど二重じゃないんですけど、そのへんの金額が若干変わってくるかと思っております総合的にすればそれだけ金額はおさえられる分があるかと思っております。以上です。

○議長（杉本和彰君）

9番 庄山忠文君

○9番（庄山忠文君） ちょっと今私の言い方が悪かったかもしれませんが、仮にですね中学校も入っているわけですね、だから中学校の新築をやった場合に対してですね、この改修を耐震改修をやったその後に新築でもやったときにですね、その耐震の事業をやったおかげでその弊害がその新築に対しての弊害があるのか、ないのかそのところですね、影響ですね。

○議長（杉本和彰君）

学校教育課長 吉田 収君

○学校教育課長（吉田 収君） 先ほどの生山議員さんの答弁と重なる部分がございますけれども耐震工事をやって10年以上の分については、従来は補助金の返還とかは全くないというようなことで20年6月からは耐震工事やった分でも無償で財産処分をした分、それについては補助金等の返還はないというようなことをごさいますので、耐震工事をした分で学校の施設としてなくなったそれに対する補助金の返還は発生しないと、統合も当然統合関係も考えられる事態でございましてそういったところと含んだところで耐震工事にかかった分の補助金等の返還については必要ないといったようなことで新しい事業についての影響というのはないんじゃないかなというふうに判断しているところです。

○議長（杉本和彰君） ほかに質疑はありますか。

ないようでしたら、私14番議員として質疑をしたいので13番、副議長お願いします。

○副議長（荒木拓馬君） しばらく休憩いたします。

休憩 午後2時42分

再開 午後2時44分

○副議長（荒木拓馬君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

14番 杉本和彰君

○14番（杉本和彰君） 失礼します。14番杉本です。こういうことをしますのはあんまりよくはないと思うんですが、まして副議長には大変申し訳なく思っております。ただ、あの8名様の議員のために名誉のために記憶に残るところで発言すべきかなと思った次第です。町長には8ページの議会費の総額についてお伺いする次第であります。先ほどあっとりましたけど、やはり7名の議員さんが東京に本当は千葉なんですけど、千葉にアカデミー研修に一泊二日で行かれる、それはそれだけではもったいないという和木町のためにどのように行動すべきかと考えられ、一泊二日は自費ですね、自費で議員会館陳情並びに国土交通省、そのかなりトップの方ですね、道路局長だからそういう方に会われるために行かれました。そのためには議員として自主的にすごい労力を使われております。そう簡単にそんな国土交通省の上の方と会えるわけない、すいか1個ぐらいじゃいかんです。たくさん自分たちのポケットマネーでかなり7人の方は使われております。その中で私も同行、町長も同行を求められた次第です。私は私で先ほども言いましたけど、玉名八女線の期成会の中で、きちんとした陳情項目の中にあります。議員会館そして国土交通省陳情というのがあります。だから、私はなんら人から言われる筋合いはないし、まして最初は私は完全に自腹で行くつもりでございましたので、実際今でも私は払っています。本当はいつその金が八女線からかえてくるのか私も知らんとですけど、戻ってくることも多分ないと、わからんとですけど。そういう状況の中で、こうやって町長は議員が自ら本当に事前まで大きな苦勞をされて、和木町の発展のため道路網の整備、新幹線からなかなか道がまだ広くなってない、そこらへんの陳情、八女への道路とか本当に苦勞されています。私も一緒に行動したのでよくわかっています。そういう苦勞につきまして、町長はその議員さんに対してどういうお考えか思いかをお伺いします。

○副議長（荒木拓馬君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） 今回、研修を利用して行かれたということにつきましては、大変ありがたいと思っております。一般質問でも申し上げましたように、私も御一緒できませんでしたが、前もっての先生方への電話、翌日の先生方への電話御礼を兼ねて申し上げたところでございました。

○副議長（荒木拓馬君）

14番 杉本和彰君

○14番（杉本和彰君） 14番です。町長もよく御理解をいただいているようで大変安心いたしました。やはりこれは各議員が自主的に動いてくれることは私も今の立場上大変うれしく思います。

今からもそういう動きがある時は、私はどなたでも同行を求められればもちろん行くというか、行くべきでありますので行かせていただきたいというふうに考えます。ただ名誉のためにまた言いますが、やはりみんなで14名同じ目的でいくんだから、あんまりごちゃごちゃせんで言いたくないし、そこらへんはしたくないけど、これはあえて町長には見せましたけど見ていただきましたが、私には中傷の電話とかハガキとかいっぱいきますが、「何でお前が議長しとつとか、はよ議長を辞めんか」とか、いろいろ言われてそういうのは我慢できますが、「東京で野田先生様と会われ小遣いでももらったのですか、ちゃんと聞いとるばい」てこういう刑法犯罪に引っかかるようなハガキも私にきました。恥ずかしくて上の文章は本会議場で読めません。こんな法律に引っかかるようなことをする、ましてやこういう東京に行ったことなんて知らんですよ町民は。これはどがん思うんですか。いや議会費で言います。以上です。町長答弁をお願いします。

○副議長（荒木拓馬君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） 東京の陳情活動、これについての私自身同行いたしませんでしたが、諸般の事情いろんな方のいろんな思いというのがございましたようです。それはそれとして私の状況の知らないところでもございました。それから先ほどのハガキの件ですね、これは自称としては全く遺憾とするところ、実際にそういうハガキを受け取られた議員さんに対してはどうか表現したらいいんでしょうか、あえて言わせていただければ、そのへんは町として大変申し訳ないところであるというふうに考えます。ただこのへんは今申し上げましたように、大変遺憾なことなんでございますけれども、私もその話を承って状況を確認しようと思いましたがけれども、全くその糸口もつかめておらないのが状況でございます。

○副議長（荒木拓馬君）

14番 杉本和彰君

○14番（杉本和彰君） 14番です。これをなんで言ったかといいますと、やはり町長には議員がいろんな自主的な活動をする時も町長には御理解並びに御支援並びに御協力でプラス少しでも和水町の発展につながると判断された場合は、今後とも御支援をお願いしたいという思いで質疑をさせていただきました。ありがとうございました。

○副議長（荒木拓馬君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） 御発言の筋もちろんです。何と言いましようかみんなで一緒に活動する、みんなで理解しながらやらせていただく、それから一致すべきは一致していくというのが基本でございますので、そのように受け止めてまいりたいと思います。

○副議長（荒木拓馬君） 議長と交代をいたします。

○議長（杉本和彰君） ほかに質疑はありませんか。

3番 蒲池恭一君

○3番（蒲池恭一君） 先日の一般質問の中で、今回5億9,000万の内の7,779万8,000円が菊水地区の統廃合建設費の委託料工事請負費土地購入費としてあげられております。先般の一般質問

の中でもしっかりと私は伝えたにもかかわらず、これを修正していただけていないという事ですよ、これは。6億9,000万の内にプールは菊水中学校が39年に建てられてもう51年、そして中央小学校が45年でしたかね、そこまでいっているのにもかかわらず、年次計画にもあげられていない、今から11億かかるのか21億かかるのかわからない、そういう事をそしてなおかつどこから補助金が来るのかもわからない、こういう事をそのままあげられるということに関して、私は反対いたしますので答弁はよろしいです。そういうことで理解していただきたいと思います。その中でですね、これを否決するという事はですね、実質12ページの民生費の社会福祉総務費の中の国保国民健康保険事業会計繰出金並びにその下の介護保険事業会計繰出金、特別養護老人ホーム事業会計繰出金もですね、含めてこれは否決するということでありますので、申し訳わけありませんけども、町長には本来は僕はここは訂正を修正で僕は上げられるべきであったろうと思っていますけども、私との町長との見解の違いということで申し訳ありませんけど、これに関しても否決させていただきます。以上でございます。

○議長（杉本和彰君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

申し訳ありません。原案に反対者の発言を許します。

3番 蒲池恭一君

○3番（蒲池恭一君） 皆さん改めましてこんにちは、3番議員の蒲池でございます。議案第45号平成27年度和水町一般会計補正予算に対しましての反対討論をさせていただきます。

先ほども質疑の中で申させていただきましたけども、学校建設がなぜ政争の場になってしまったのか、その張本人のお一方がまさしく町長席に座っておられる福原町長御自身であります。私自身平成22年から議員をさせておりますけど、その折にも町長選があり番城グラウンドに新築建築を訴えられて当選されたのが坂梨前町長であります。だから私を始め多くの議員の賛成のもと多くの議員の賛成のもとに番城グラウンドに用地買収そして造成工事が進み、設計委託費用も設計委託も進み今年度まで10億5,000万円の予算が町民の皆さん方の大事なお金を費やしてきたわけであります。しかし、結果的に36億の約束が1割アップの39億6,000万円になった事により、約束が違うということで学校建設が政争の場になり結局議会の理解が得られないということで入札を見送られました。そして、昨年3月の町長選において学校建設が選挙の争点となり既存の小中学校を利活用し、大幅にまさに大幅に削減し町民の皆様方の福祉等に充てると言われた福原町長が誕生したわけでございます。そんな中で、3月には21億という学校既存の小学校を使う建設費用が上程されました。そういう中で今回6億9,000万という町長提案の中で、学校教育委員会との話の違いの中に途中で一般質問の中で町長は年次計画の中に入れると答弁の仕方が変わってきました。最初は6億9,000万でいかせていただきたいと言われましたけれども、やっぱり教育委員会と町長部局の違いが表ざたになることもおかしいと判断されたのかもしれない。しかしそれをしたことによって年次計画という事は21億になるのか11億になるのか6億9,000万が幾

らになるのかははっきりいってわかりません。そんな中で、我々議会人がですね、賛成することができるのでしょうか。僕はですね、今まで番城グラウンドに10億5,000万円を使ったことに関してしっかりとした何をするのか、そこにはいくらかかるのか、そして町民の皆さん方にどういう還元ができるのか、そういうことも知っていただきながら、そしてなおかつ上程すべきだろうと私は思っておりますので、この一般会計補正予算の中には、町民福祉の大事な大事な予算もありますけども、町民の皆様方には改めてお詫び申し上げますけれども、この一般会計補正予算案に関してはですね、反対の立場を取らせていただきます。以上もちまして、反対討論にさせていただきます。どうもありがとうございました。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか。

12番 笹渕賢吾君

○12番（笹渕賢吾君） 議案第45号、平成27年度和水町一般会計補正予算案に賛成討論を行います。この予算案には町民の大事な暮らし福祉予算が含まれています。特に、この提案には町民、PTAなど複式学級をなくしてほしいという願いの菊水区域学校施設改修工事関連の予算が含まれています。菊水区域の小中学校校舎の改修にあたっては、最初A案の、学校施設改修事業費約11億7,000万円で行う方針でしたが、学校統合推進委員会からB案の約21億円にしてほしいという答申がでたため、尊重しB案に決定し町民に説明してまいりました。しかし3月議会で議員の修正提案が可決され、今回建築工事費は大幅に引き下げられ約5億7,000万円が提案されております。熊本県下で耐震化率が本町は66.7%であり、熊本県下で最低の状況を早く改善し子ども達の安全安心に早く対応することが求められています。改修計画案合計は約6億9,000万円です。プールの改修等については年次計画として実施していくとのことであります。今年は合併して10年目であります。合併後11年度から地方交付税が一本算定のもと毎年1割、3割、5割、7割、9割と削減をされ、15年後には大幅に削減されます。消費税が8%に値上げされ、基幹産業の農業所得は減少し、町民の所得は実質上がらない中で暮らしはますます厳しくなっています。地方自治体は町民の暮らし、平和を一番に考えなければなりません。町財政が窮屈になる中での、この校舎改修計画案は町民の暮らし、福祉を守り充実させていくための当然の提案であります。よってこの提案に賛成するものであります。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか。

9番 庄山忠文君

○9番（庄山忠文君） 9番議員の庄山でございます。私は反対討論を行います。この反対討論の根本は私ははっきりと番城グラウンドに対しての推進をなんべんも申し上げておりますが、やっております。そういう中で、この一般会計の前の議案に対して小学校の位置、これが否決をされました。否決をされたという事は、今後の問題はどのようにしていくのか、ここに予算が計上されております。どのような不服でやるのか私は見当が付きません。そういう中での予算、そしてまた私ははっきりと番城というような根本でやっておる、そういう中での提案でございます。本当にこの学校統合の費用だけということであるのならば、私は本当によかったのですが一般会計のなかにはさっきもいろんなお話がございました、本当にあとの大事な予算もついております。

しかし、これはあとでの補正でもきくわけでございます。そういうことでこの一般会計の補正予算に対しては、私は反対。そういう事を述べて終わりたいと思います。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか。原案に賛成者の発言を許します。

1 番 生山敬之君

○1 番（生山敬之君） 1 番議員の生山です。議案第45号平成27年度和水町一般会計補正予算案について賛成討論を述べさせていただきます。菊水区域の小学校統合事業関係費予算の一部凍結との答弁もあったことから、安全面の確保は維持した中での必要最小限度の耐震改修案と判断いたしました。また国、県から要請されている耐震改修の対応にあたっても緊急性があると考えため本提案に賛成いたします。以上です。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか。原案に反対者の発言を許します。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君）

10番 池田龍之介君

○10番（池田龍之介君） 10番、池田です。反対討論がないという事でしたので、賛成討論でありますけれども挙手して賛成討論をさせていただきます。反対される方々はそれぞれ意見があらわれるから反対されて結構だろうと私は思います。しかし筋のある方だろうと思っていたんですけど筋もなかったですね。3月定例会においては、修正動議までだして是々非を貫かれたと私は解釈をしております。今回は補正予算全体を否決すると、私はさぞ筋を通してこられるからまた今回も修正動議で補正の修正をされるものと期待をしておりました。是々非々、非常に難しいですよ、それを貫くと我々は反対がための反対じゃないと、いつも言われておりますけれどもこれを見るなら反対がための反対じゃないんですか、筋を通すなら筋を通してください。私はいつ災害が起きるかわかりませんので、小学校児童、中学校生徒の生命を守るためには是非この事業を進めてほしいと思いますので賛成討論をいたします。以上です。

○議長（杉本和彰君） 討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は起立によって行います。

議案第45号、平成27年度和水町一般会計補正予算（第2号）は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（杉本和彰君） 起立少数です。

したがって、議案第45号は否決されました。

日程第7 議案第46号 平成27年度和水町国民健康保険事業会計補正予算（第1号）

○議長（杉本和彰君） 日程第7、議案第46号「平成27年度和水町国民健康保険事業会計補正予算（第1号）」を議題とします。これから質疑を行います。質疑はありませんか。

5番 荒木政士君

○5番（荒木政士君） 5番です。先ほど一般会計補正否決されました。この議案の中にも国民健康保険事業会計補正予算の中にもですね、一般会計からの繰入れが373万7,000円ございますけど、この予算案というのはどういうふうになるのでしょうか。

○議長（杉本和彰君） しばらく休憩します。

休憩 午後3時13分

再開 午後4時23分

○議長（杉本和彰君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

ただいま6月12日町長から提出された、議案第46号「平成27年度和水町国民健康保険事業会計補正予算（第1号）」

議案第47号「平成27年度和水町介護保険事業会計補正予算（第1号）」

議案第48号「平成27年度和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第1号）」について撤回したいとの申し出があります。

議案第46号「平成27年度和水町国民健康保険事業会計補正予算（第1号）」

議案第47号「平成27年度和水町介護保険事業会計補正予算（第1号）」

議案第48号「平成27年度和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第1号）」撤回の件を日程に追加し追加日程第2とし、日程の順序を変更し直ちに議題にしたいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 異議なしと認めます。

議案第46号「平成27年度和水町国民健康保険事業会計補正予算（第1号）」

議案第47号「平成27年度和水町介護保険事業会計補正予算（第1号）」

議案第48号「平成27年度和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第1号）」撤回の件を日程に追加し追加日程第2として、日程の順序を変更し直ちに議題とすることに決定しました。

追加日程第2 議案第46号 平成27年度和水町国民健康保険事業会計補正予算（第1号）

議案第47号 平成27年度和水町介護保険事業会計補正予算（第1号）

議案第48号 平成27年度和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算
（第1号）撤回の件

○議長（杉本和彰君） 追加日程第2、議案第46号「平成27年度和水町国民健康保険事業会計補正予算（第1号）」、議案第47号「平成27年度和水町介護保険事業会計補正予算（第1号）」、議案第48号「平成27年度和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第1号）」撤回の件を議題にします。町長から事件撤回の理由の説明を求めます。

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） 事件撤回のお願いを申し上げます。平成27年6月12日提出いたしました、次の3事件は、次の理由により撤回をいたしたいので会議規則第20条の規定により請求を申し上げます。

記

件名1、議案第46号、平成27年度和水町国民健康保険事業会計補正予算（第1号）

件名2、議案第47号、平成27年度和水町介護保険事業会計補正予算（第1号）

件名3、議案第48号、平成27年度和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第1号）。

理由といたしまして、議案第45号、平成27年度和水町一般会計補正予算（第2号）の否決によるところでございます。平成27年6月19日和水町長福原秀治。よろしくお願い申し上げます。

○議長（杉本和彰君） お諮りします。

3番 蒲池恭一君

○3番（蒲池恭一君） 提案理由の説明がありました。実は私をはじめ賛成少数による否決がもとになってですね、これが撤回請求書が出てきたということでもあります。そんな中でですね、私は一般質問の中でですね、町長がこの学校建設に関しては、なくしたところで修正の一般会計補正予算が上程されるものだろうと思ってですね、そのつもりでおりました。しかし、そのままいかれたと、しかし用意はされていたと、その学校建設費をのこしたところのですね、ただ池田議員からの指摘もありましたとおり、やっぱり町民福祉に迷惑をかけるということですね、そこも申し添えてもう用意ができていますという事でもありますので、そこを早く臨時会をしていただいて町民福祉に迷惑がかからないようにしていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

○議長（杉本和彰君）

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） 蒲池議員のおおせのとおり可能性としてですね、今回否決されるのではないかと可能性は想定をいたしておりました。ただ言い訳になるかもしれませんが、意を決して上程しました議案でございます。また一般質問でも御議論をいただいた議案でございます。この会計予算の補正の審議に一縷の望みをかけたわけでございます。そのへん御理解いただきましてよろしく願いいたします。なお、臨時議会につきましては日程等々をお打ち合わせをしましてなるべく早くということで、お願いを申し上げたいというふうに思います。

○議長（杉本和彰君） お諮りします。

まず、議案第46号、平成27年度和水町国民健康保険事業会計補正予算（第1号）の撤回の件を許可することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第46号、平成27年度和水町国民健康保険事業会計補正予算（第1号）の撤回の件を許可することに決定しました。

お諮りします。

議案第47号、平成27年度和水町介護保険事業会計補正予算（第1号）の撤回の件を許可することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第47号、平成27年度和水町介護保険事業会計補正予算（第1号）の撤回の件を許可することに決定しました。

お諮りします。

議案第48号、平成27年度和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第1号）撤回の件を許可することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第48号、平成27年度和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第1号）撤回の件を許可することに決定しました。

日程第10 議案第49号 平成27年度国民健康保険和水町立病院事業会計補正予算（第1号）

○議長（杉本和彰君） 日程第10、議案第49号「平成27年度国民健康保険和水町立病院事業会計補正予算（第1号）」を議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありますか。

（「なし」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は起立によって行います。

議案第49号、平成27年度国民健康保険和水町立病院事業会計補正予算（第1号）は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（杉本和彰君） 起立多数です。

したがって議案第49号は原案のとおり可決されました。

日程第11 同意第8号 和水町固定資産評価員の選任について

○議長（杉本和彰君） 日程第11、同意第8号「和水町固定資産評価員の選任について」を議題とします。本案について提案理由の説明を求めます。

町長 福原秀治君

○町長（福原秀治君） 同意第8号、和水町固定資産評価員の選任について理由を申し述べます。和水町固定資産評価員に次のものを選任したいので同意を求めます。平成27年6月12日提出でご

ざいます。和水町長福原秀治。対象者でございます。

住所：和水町板楠1741番地。氏名：山下仁、昭和30年6月5日生まれ。提案の理由でございます。固定資産評価員の選任については、地方税法第404条の2項の規定により議会の同意を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由でございます。なお本人推薦の理由といたしまして現在対象者の山下仁氏は税務住民課の課長といたしまして、固定資産及び固定資産税等々に深くかかわった、また責任ある業務をいたしております。その理由から固定資産評価員の選任について推薦をいたし、お諮りを申し上げます。よろしくお願いをいたします。

○議長（杉本和彰君） これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありますか。

（「なし」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は起立によって行います。

同意第8号、和水町固定資産評価員の選任については原案のとおり同意することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（杉本和彰君） 起立多数です。

したがって同意第8号は原案のとおり同意することに決定しました。

日程第12 報告第2号 平成26年度株式会社菊水ロマン館の決算報告について

○議長（杉本和彰君） 日程第12、報告第2号「平成26年度株式会社菊水ロマン館の決算報告について」を議題とします。地方自治法第243条の3第2項の規定に基づく株式会社菊水ロマン館の決算状況は、先般行われた全員協議会での報告に代えさせていただきます。

日程第13 農業委員の推薦について

○議長（杉本和彰君） 日程第13「農業委員の推薦について」を議題とします。農業委員会等に関する法律第12条第1項第2号の規定により4人の推薦依頼がっております。

お諮りします。

議会推薦の農業委員は4人推薦したいと思います。御異議ありませんか。

（「異議あり」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君）

10番 池田龍之介君

○10番（池田龍之介君） ただいま、ここに農業委員4名の推薦ということで、上がっております。私が異議ありと申し上げたのは上2名の女性の方に関しては異議はありません。下2名の方

に関してちょっと異議を申し立てます。私のこの手元にですね、議会議員委員会名簿並びに平成26年5月8日現在の議会関係各種委員会名簿があります。それに本年度に入り議会改革特別委員会同小委員会、玉名地域医療体制づくり検討協議会これを加えますと、委員会の総数は33を数えます。そこに、就任している議員を個人的に数えますと、すみません、名前を読ませていただきます。杉本議長16委員会、荒木副議長8委員会数、これからは議席番号順に申し上げます。1番生山議員6委員会、2番森議員7委員会、3番蒲池議員12委員会、4番豊後議員8委員会、5番荒木議員9委員会、6番松村議員7委員会、7番小山議員8委員会、8番高巣議員9委員会、9番庄山議員7委員会、10番私7委員会、11番杉村議員10委員会、12番笹淵議員5委員会、以上のような就任状況数となっております。これを延べ人数に数えますと、119名となります。平均をだすと119割る14は8.5なのがしかになります。それを整数になおすと9ということになるかと思えます。それで9以上の議員、杉本議長、議長は充て職が多いので、16というのはやむを得ないかなと考えます。次に蒲池議員の12、杉村議員の10とこの3名の方が10を超える委員会に就任をされております。あとは9個から5の委員会の就任となっております。委員就任の平等、平準化を図る上からは蒲池議員並びに杉村議員の農業委員就任は現状から特に蒲池議員は1個加えますと13個と委員数を数えることとなります。より突出するような感じが伺えます。この和水町1代、2代議員、議会ではどうであったか私は在籍、在職しておりませんので計り知れませんが、私がこの旧菊水の事を申し上げますとなにかと思えますけれども、議会四役つまり議長、副議長、議運の委員長並びに監査これを俗にいう議会の四役と言いますけれども、旧菊水議会ではこれプラス有明広域議員に就任したものについては、委員会に就任する数をより多く他の議員の方に分け与えるというような暗黙の了解になっておりました。旧三加和町議会でもそうであったと私は議員間同士の話において記憶をいたしております。いくら議員間同士反りが合わないと同一歩調を取る取らないは別次元問題としてですね、それくらいの心配り、気配りは議会人として当然ではないかと、持ちたいものであるといつも心の中に思っております。その議会四役の一つプラス1言いました有明広域議員これは3番の蒲池議員は就任をされております。できますならばこの蒲池議員並びに杉村議員両議員とも能力がないとは私は申し上げます。しかし最初に申し上げたように委員会就任の平等化、平準化を考えるならば議長、副議長、議運の委員長、議会の三役の方々はそのことを念頭において平準化に努めるべきではないかと私は考えます。

議長、今から休憩をとられて三役で話し合いをもたれる時間をお持ちでしょうか。

○議長（杉本和彰君） 被推薦人、個人ですね個人の推薦は後ほどあります。今は議会推薦を農業委員は4人にしたいというところがございます。今から1人ずつ行いますので。4人推薦したいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君） 異議なしと認めます。

したがって、4人推薦することに決定しました。これから1人ずつ推薦します。被推薦人に、住所：板楠2958番地1、上妻美津子さんを推薦したいと思います。お諮りします。

ただいま議長が申した上妻美津子さんを農業委員に推薦することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶもの多数)

○議長(杉本和彰君) 異議なしと認めます。

したがって、上妻美津子さんを農業委員に推薦することに決定しました。

次に、被推薦人に、住所：下津原3384番地、石原由紀さんを推薦したいと思います。

お諮りします。

ただいま議長が申した石原由紀さんを農業委員に推薦することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶもの多数)

○議長(杉本和彰君) 異議なしと認めます。

したがって石原有紀さんを農業委員に推薦することに決定しました。

しばらく休憩します。

休憩 午後4時48分

再開 午後4時58分

○議長(杉本和彰君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

本日の会議時間は、議事の都合によってあらかじめ延長します。

先ほど池田議員の質疑に際しましては、今まで三加和、菊水地区で協議していただいております。今回杉村議員と蒲池議員を推薦人とするようになっております。それで、これをお諮りしたいと思います。池田議員の言われた各種委員会等の人選につきましては、今後議会運営委員会、特別委員会等で検討してまいります。よろしく願いいたします。

次に、被推薦人に杉村幸敏君を推薦します。

地方自治法第117条の規定により杉村幸敏君の退場を求めます。

(杉村幸敏君退場)

○議長(杉本和彰君) お諮りします。

ただいま議長が申した杉村幸敏君を農業委員に推薦することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶもの多数)

○議長(杉本和彰君) 異議なしと認めます。

したがって、杉村幸敏君を農業委員に推薦することに決定しました。杉村幸敏君の入場を許可します。

(杉村幸敏君入場)

○議長(杉本和彰君) 次に、被推薦人に蒲池恭一君を推薦します。

地方自治法第117条の規定により蒲池恭一君の退場を求めます。

(蒲池恭一君退場)

○議長(杉本和彰君) お諮りします。

ただいま議長が申した蒲池恭一君を農業委員に推薦することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶもの多数)

○議長(杉本和彰君) 異議なしと認めます。

したがって、蒲池恭一君を農業委員に推薦することに決定しました。蒲池恭一君の入場を許可します。

(蒲池恭一君入場)

日程第14 陳情等の常任委員長報告について

○議長(杉本和彰君) 日程第14「陳情等の常任委員長報告について」を議題とします。

常任委員会に付託した陳情等について、委員長から委員会審査報告書が提出されました。委員長から審査の経過と結果について報告を求めます。始めに総務文教常任委員会に付託した陳情等について委員長の報告を求めます。

総務文教常任委員長 松村慶次君

○総務文教常任委員長(松村慶次君) 総務文教常任委員長の松村でございます。本定例会において総務文教常任委員会に付託されました陳情等の審査結果について報告いたします。なお、審査につきましては6月18日、委員会室におきまして、慎重に審査を行っております。

受付番号第67号ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化対策を求める意見書の採択を求め、陳情書の審査結果は採択です。委員会としては社会の平穏を乱し、人間の尊厳を犯す行為、ヘイトスピーチ退去するために必要性があると判断しました。

受付番号第85号、青少年健全育成基本法の制定を求める意見書の提出に関する請願です。審査の結果は採択です。委員会の意見としては、今日の相次ぐ少年の凶悪事件等に見られるように、青少年の荒廃は深刻な事態です。このような問題を解決するために青少年健全育成法の制定が必要であると判断しました。

受付番号第117号、陳情、城北製絲株式会社工場跡地内に記念碑建立の土地を取得し、記念碑を建立することについて。審査の結果は採択です。なお、この件につきましては、委員会において提出者の菊水史談会、また、地元区長さんから意見を聞いております。そのあと、現地確認を行っております。委員会の意見としては、城北製絲株式会社の歴史と面影は、建物などが消え去った今も町民の心に強く根付いております。将来も町民の心のよりどころにし、先人の苦勞を偲び、明日への活力の源とするために必要と判断しました。以上で本委員会に付託されました陳情書等の審査の結果について報告を終わります。

○議長(杉本和彰君) 委員長の報告を終わり、これから委員長報告に対する質疑を行います。受付番号第67号ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書の採択を求める陳情書を議題とします。これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶもの多数)

○議長(杉本和彰君) 質疑なしと認めます。これで、質疑を終わります。

これから、討論を行います。討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶもの多数)

○議長(杉本和彰君) 討論なしと認めます。これで、討論を終わります。

これから、採決します。この採決は、起立によって行います。

本案に対する委員長の報告は採択です。

受付番号第67号ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書の採択を求める陳情書は委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長(杉本和彰君) 起立多数です。

したがって、受付番号第67号は委員長報告のとおり採択することに決定しました。

○議長(杉本和彰君) 次に受付番号第85号、青少年健全育成基本法の制定を求める意見書の提出に関する請願を議題とします。これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

12番 笹渕健吾君

○12番(笹渕健吾君) この青少年健全育成基本法の制定を求める意見書の提出に関する請願がありますが、請願の趣旨、要旨、文章を見てみますと、いくつか問題点を含んでいるというふうに思います。この中で、現代の少年の凶悪事件、青少年の荒廃は深刻な事態になっている、その要因として児童幼児虐待事件等に象徴される家庭の崩壊、また、倫理道德教育廃止、人格形成の場としての役割を果たしてこなかった学校の問題も指摘されています。いうふうにいろんな虐待それから凶悪事件、こういったものが、学校での倫理道德教育をしてこなかったと、こういうことからですね、問題が出てきているとこういう指摘をされております。また、この有害環境の出現ということで、雑誌やビデオ、コミック、インターネット、携帯電話、こういったことで凶悪事件等に突き進んでいるとこういうふうに述べられています。ですから、この内容からしますと私は、今の青少年の非行に走る状況これは社会的な問題からくるのであって、学校の道德教育このことから、道德教育がなされてないからということでの問題ではないというふうに考えておりますし、そのあとのですね、なぜ青少年健全育成基本法を制定する必要があるのかということについてはその法の中で、有害環境から青少年を守るための国や地方自治体、事業者そして保護者等の責任を明らかにし、というふうになっています。このいろんな青少年の問題について保護者の責務ということで、保護者の義務を負わせるような形の法律の制定を求めると、こういうような状況に文章がなっているというふうに思います。今、子どもを抱える御家庭では経済的貧困家庭がたいへん増えています。そういった中で、子どもに目をやる時間も少なく、なかなか親子の会話も進まない、こういう状況もある状況です。こういった時に、無理やりですね、青少年健全育成基本法その法律の制定によって、保護者の責務を押し付ける、こういったことでは、基本的人権の抑制にもつながるんじゃないかというふうに思うわけです。また、青少年健全育成基本法こういったものが、国会で出されるという運びはありませんし、こういった請願書が玉名市の方から出ているわけですが、紹介議員がいて、今回請願書という形になっています。こういった文章を見てみますとこの請願書はですね、私は賛成できないということをおきたいという

ふうに思います。

○議長（杉本和彰君） 答弁はよろしいんですか。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 質疑なしと認めます。これで、質疑を終わります。

これから、討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 討論なしと認めます。これで、討論を終わります。

これから、採決します。この採決は、起立によって行います。

本案に対する委員長の報告は採択です。

受付番号第85号、青少年健全育成基本法の制定を求める意見書の提出に関する請願は委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（杉本和彰君） 起立多数です。

したがって、受付番号第85号は委員長報告のとおり採択することに決定しました。

次に受付番号第117号、陳情城北製絲株式会社工場跡地内に記念碑建立用の土地を取得し記念碑を建立することについてを議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 質疑なしと認めます。これで、質疑を終わります。

これから、討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 討論なしと認めます。これで、討論を終わります。

これから、採決します。この採決は、起立によって行います。

本案に対する委員長の報告は採択です。

受付番号第117号、陳情、城北製絲株式会社工場跡地内に記念碑建立用の土地を取得し、記念碑を建立することについては委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（杉本和彰君） 起立多数です。

したがって、受付番号第117号は委員長報告のとおり採択することに決定しました。

次に厚生常任委員会に付託した陳情等について委員長の報告を求めます。

厚生常任委員長 杉村幸敏君

○厚生常任委員長（杉村幸敏君） 厚生常任委員長の杉村でございます。本定例会において厚生常任委員会に付託された陳情等の審査結果について御報告をいたします。なお、審査につきましては6月16日午後5時から、委員会室におきまして、慎重に審査を行っております。

受付番号第346号、安全安心の医療介護の実現と夜勤改善、大幅増員を求める陳情書の審査結

果は採択です。委員会の意見としては陳情の内容のとおり、国民の命と暮らしを守る、安全安心の医療介護を実現するために適切な措置を講じる必要があると判断をいたしました。

受付番号第347号、介護従事者の処遇改善を求める陳情書の審査結果は採択です。

委員会の意見としては陳情の内容のとおり、超高齢化社会を迎え介護のニーズは高まる中、低賃金、重労働という介護現場の実態は、介護を担う職員の確保を困難にしております。安全安心の介護を実現するためにも介護職員の人員確保は不可欠の課題で、その従事者の処遇を抜本的に改善することが必要であると判断しました。以上で、本委員会に付託されました陳情等の審査結果について報告を終わります。

○議長（杉本和彰君） 委員長報告を終わり、これから委員長報告に対する質疑を行います。受付番号第346号「安全安心の医療介護の実現と夜勤改善大幅増員を求める陳情書」を議題とします。これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 質疑なしと認めます。これで、質疑を終わります。

これから、討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 討論なしと認めます。これで、討論を終わります。

これから、採決します。この採決は、起立によって行います。

本案に対する委員長の報告は採択です。

受付番号第346号、安全安心の医療介護の実現と夜勤改善、大幅増員を求める陳情書は委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（杉本和彰君） 起立多数です。

したがって、受付番号第346号は委員長報告のとおり採択することに決定しました。

受付番号第347号、介護従事者の処遇改善を求める陳情書を議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 質疑なしと認めます。これで、質疑を終わります。

これから、討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 討論なしと認めます。これで、討論を終わります。

これから、採決します。この採決は、起立によって行います。

本案に対する委員長の報告は採択です。

受付番号第347号、介護従事者の処遇改善を求める陳情書は委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（杉本和彰君） 起立多数です。

したがって、受付番号第347号は委員長報告のとおり採択することに決定しました。

次に建設経済常任委員会に付託した陳情等について委員長の報告を求めます。

建設経済常任委員長 高巢泰廣君

○建設経済常任委員長（高巢泰廣君） 建設経済常任委員長の高巢でございます。本定例会において建設経済常任委員会に付託されました陳述等の審査結果について報告いたします。なお、審査につきましては6月16日、中会議室におきまして、慎重に審査を行っております。

受付番号第28号、農業委員への女性の登用に関する要望書につきましては、採択です。委員会の意見としては、男女共同参画基本計画を基にあらゆる分野に女性が参画し、女性の視点を活かした声を地域社会に伝えることが将来の地域づくりに必要であると判断しました。以上で本委員会に付託されました陳述等の審査結果について報告を終わります。

○議長（杉本和彰君） 委員長の報告を終わり、これから委員長報告に対する質疑を行います。

受付番号第28号、農業委員への女性の登用に関する要望書を議題とします。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 質疑なしと認めます。これで、質疑を終わります。

これから、討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 討論なしと認めます。これで、討論を終わります。

これから、採決します。この採決は、起立によって行います。

本案に対する委員長の報告は採択です。

受付番号第28号、農業委員への女性の登用に関する要望書は委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（杉本和彰君） 起立多数です。

したがって、受付番号第28号は委員長報告のとおり採択することに決定しました。

日程第15 閉会中の継続審査について

○議長（杉本和彰君） 日程第15、閉会中の継続審査について

10番 池田龍之介君

○10番（池田龍之介君） 地方自治法じゃなくて会議規則第14条第1項及び第2項の規定により追加提案として追加議案として議提案をいたします。3月定例会最終日において、杉本議長は御自分自身から辞職願をこの本議場において提出されました。そのことについては依然において何ら解決をみておらないと私は判断をいたします。また、5月12日、我々、私が提案者となり臨時議会の請求をいたしました。その経緯は、議長職辞職勧告の議題と、辞職願を議題とすることは、

議長本人からはなかなか請求できないから、あなたたちの方で請求をしてほしいという意思表示がありました。御依頼がありました。そして、我々が出したら、議長は辞職願を出してない、だからこれは文言がおかしいじゃないですか、というようなことを言われたと聞き及んでおります。そしてまた、当日、庁舎内において、議長として品位を欠くような行為、多くは申しません、自分の胸に手を当ててよく反省をしていただきたい。さらに議員全員協議会においては辞意を表明しておきながら、なぜこの本議会議場においては辞意を表明されないのかと不信を抱くものであります。よってここに、先ほど申しました会議規則第14条第1項及び第2項の規定により、和水町議長、議会議長杉本和彰様の不信任決議案を議提案として提案申し上げます。

○議長（杉本和彰君） しばらく休憩します。

休憩 午後5時29分

再開 午後5時51分

○議長（杉本和彰君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

ただいま、池田龍之介君他5人から議長不信任の決議案が提出されました。

本決議案を日程に追加し追加日程第3として日程の順序を変更し直ちに議題とすることについて採決します。この採決は起立によって行います。

お諮りします。起立しないものは反対とみなしたいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 異議なしと認めます。

それでは本決議案を日程に追加し、追加日程第3として日程の順序を変更し直ちに議題とすることに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（杉本和彰君） 起立少数です。

したがって議長不信任の決議案を日程に追加し、追加日程第3として日程の順序を変更し直ちに議題とすることは否決されました。

日程第15 閉会中の継続審査について

○議長（杉本和彰君） 日程第15、閉会中の継続審査についてを議題とします。

総務文教常任委員長から委員会において審査中の事件について会議規則第75条の規定によってお手元に配付しました閉会中の継続審査申し出のとおり閉会中の継続審査の申し出があります。

お諮りします。

委員長から申し出のとおり閉会中の継続審査とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君） 異議なしと認めます。

したがって委員長から申し出のとおり閉会中の継続審査とすることに決定しました。

日程第16 閉会中の継続調査について

○議長（杉本和彰君） 日程第16、閉会中の継続調査についてを議題とします。

各委員長から会議規則第75条の規定によってお手元に配付しました閉会中の継続調査申出書一覧表のとおり閉会中の継続調査の申し出があります。

お諮りします。

各委員長から申し出のとおり閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 異議なしと認めます。

したがって各委員長から申し出のとおり閉会中の継続調査とすることに決定しました。

日程第17 議員派遣について

○議長（杉本和彰君） 日程第17、議員派遣の件を議題とします。

お諮りします。議員派遣の件についてはお手元に配付しましたとおり派遣することにしたいと思えます。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 異議なしと認めます。

したがって議員派遣の件はお手元に配付しましたとおり派遣することに決定しました。

しばらく休憩します。

休憩 午後 5 時54分

再開 午後 6 時04分

○議長（杉本和彰君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

お諮りします。

ただいま議員提案で発議第3号、ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書の提出について

発議第4号、青少年健全育成基本法の制定を求める意見書の提出について

発議第5号、安全安心の医療介護の実現と夜勤改善大幅増員を求める意見書の提出について

発議第6号、介護従事者の処遇改善を求める意見書の提出についてが提出されました。

これを日程に追加し追加日程第3から第6とし、議題としたいと思えます。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 異議なしと認めます。

発議第3号から発議第6号を日程に追加し、追加日程第3から第6として議題とすることに決定しました。

追加日程第3 発議第3号 ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書の提出について

○議長（杉本和彰君） 追加日程第3、発議第3号「ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書の提出について」を議題とします。

発議第3号は会議規則第39条第2項の規定によって趣旨説明を省略したいと思います。

御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 異議なしと認めます。

したがって発議第3号は趣旨説明を省略することに決定しました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は起立によって行います。

発議第3号、ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書の提出については原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（杉本和彰君） 起立多数です。

したがって発議第3号は原案のとおり可決されました。

追加日程第4 発議第4号 青少年健全育成基本法の制定を求める意見書の提出について

○議長（杉本和彰君） 追加日程第4、発議第4号「青少年健全育成基本法の制定を求める意見書の提出について」を議題とします。発議第4号は会議規則第39条第2項の規定によって趣旨説明を省略したいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 異議なしと認めます。

したがって発議第4号は趣旨説明を省略することに決定しました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶもの多数）

○議長（杉本和彰君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶものあり）

○議長（杉本和彰君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は起立によって行います。

発議第4号青少年健全育成基本法の制定を求める意見書の提出については原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長(杉本和彰君) 起立多数です。

したがって発議第4号は原案のとおり可決されました。

追加日程第5 発議第5号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書の提出について

○議長(杉本和彰君) 追加日程第5、発議第5号「安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書の提出について」を議題とします。発議第5号は会議規則第39条第2項の規定によって趣旨説明を省略したいと思います。御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶもの多数)

○議長(杉本和彰君) 異議なしと認めます。

したがって発議第5号は趣旨説明を省略することに決定しました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶもの多数)

○議長(杉本和彰君) 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶものあり)

○議長(杉本和彰君) 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は起立によって行います。

発議第5号、安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書の提出については原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長(杉本和彰君) 起立多数です。

したがって発議第5号は原案のとおり可決されました。

追加日程第6 発議第6号 介護従事者の処遇改善を求める意見書の提出について

○議長(杉本和彰君) 追加日程第6、発議第6号「介護従事者の処遇改善を求める意見書の提出について」を議題とします。発議第6号は会議規則第39条第2項の規定によって趣旨説明を省略したいと思います。御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶもの多数)

○議長(杉本和彰君) 異議なしと認めます。

したがって発議第6号は趣旨説明を省略することに決定しました。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶもの多数)

○議長(杉本和彰君) 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶものあり)

○議長(杉本和彰君) 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから採決します。この採決は起立によって行います。

発議第6号、介護従事者の処遇改善を求める意見書の提出については原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長(杉本和彰君) 起立多数です。

したがって発議第6号は原案のとおり可決されました。

○議長(杉本和彰君) 再度先ほどの議長不信任議決の追加日程についてお諮りします。

池田龍之介君他5人から議長不信任の決議案が提出されました。本決議案を日程に追加し、追加日程第7として日程の順序を変更し直ちに議題とすることに採決します。

この採決は起立によって行います。

お諮りします。

起立しないものは反対と見なしたいと思います。御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶもの多数)

○議長(杉本和彰君) 異議なしと認めます。

それでは本決議案を日程に追加し追加日程第7として直ちに議題とすることに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長(杉本和彰君) 起立少数です。

したがって、議長不信任の決議案を日程に追加し、追加日程第7として直ちに議題とすることは否決されました。

これで本日の日程は全部終了しました。会議を閉じます。

これで平成27年6月和水町議会定例会を閉会します。

御起立願います。

お疲れさまでした。

閉会 午後6時14分

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

和水町議会議長

署名議員

署名議員